

令和 7 年度（2025 年度）

京都市福祉ボランティアセンター事業

年 報

京都市福祉ボランティアセンター

（設置：京都市　　運営：社会福祉法人京都市社会福祉協議会）

目 次

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況

1 概説.....	2
2 成果と課題	2
3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績.....	4

II 各区ボランティアセンターの活動状況

1 区ボランティアセンター運営事業実施要綱.....	20
2 各区ボランティアセンターの活動状況.....	22

III 参考資料

資料 1 京都市福祉ボランティアセンター実績数値（概況）	54
資料 2 京都市福祉ボランティアセンター要綱等	60

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況



福祉ボラセンキャラクター「ふたば」

1 概説

多様な形で展開されているボランティアや当事者組織の活動に対し、施設・設備を提供するとともに、団体運営の活性化を目指した研修をはじめ、ボランティア講座など活動希望者と団体をつなぐ機会の充実に努めました。

さらに、社会的孤立や様々な生きづらさや課題を抱える当事者が、自ら思いを発することで、理解促進や社会参加の機会が広がるよう、福祉教育や広報啓発等にも取り組みました。法人としても「kyoto ころつながるプロジェクト」では、作品展の協働開催やパネル作成など部署間連携により孤独・孤立への理解を広げるための啓発等を進めました。

また、きょうと「こどもみらい笑顔便」では、新たな地域での活動が立ち上がりました。引き続き、ライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区、京都市等と協働して子育て世帯への見守り支援の充実に取り組みます。

2 成果と課題

(1) 多様化する課題への理解促進と、様々な団体・活動組織への活動支援・参加支援

様々な団体や活動組織と連携・協働し、福祉教育や講座・研修、認知症理解にむけた若者プロジェクトなど、当事者の参加支援と理解推進・啓発に努めました。

「つながるフェス」では、関係機関やボランティア、当事者団体によるワークショップや体験を通じた市民との交流や出会いの場を創出しました。

今後も、ケアラー支援をふくめ関係機関・団体との協働により、孤独・孤立や生きづらさ等への理解促進と、当事者や家族の社会参加の機会の充実に努めます。

(2) 市・区センターの連携・協働の推進と職員のコーディネーション力向上

生活課題や地域活動が多様化している中、重層的支援推進に向けて、市・区センター担当職員のコーディネーション力向上に努めました。会議での各区の取組状況と課題の共有、専門家を招いた研修では事例に基づく対応の検討、社会資源の共有等を行いました。

今後も、より実践的な知識やノウハウの共有と見える化、関係機関との関係構築に努めていきます。

(3) 市・区災害ボランティアセンター事業・活動の充実

災害ボランティアセンター運営マニュアル・手順書の点検、資機材確保や条件整備に向けての検討、また、各区担当職員への研修、各区での訓練等への協力に努めました。

引き続き、京都青年会議所やライオンズクラブ国際協会 335-C 地区と連携と、研修や出張講座による理解促進と人材育成の強化、大学や企業との更なる連携の強化に努めていきます。

■ センター施設・設備・備品の利用状況

センター開所日数	346 日	来所者・入場者数	延べ 68,416 名
1 日平均利用者数	198 名	利用登録団体数	825 団体
ミーティング室利用	延べ 865 回	録音室利用	延べ 79 回
コピー・印刷機材利用	延べ 1,486 回	パソコン利用	延べ 134 回
その他備品	延べ 173 回		

■ 「kyoto ころつながるプロジェクト」の取組

	実施内容
協働取組	・「つながるフェス」令和7年10月4日(土)ゼスト御池 河原町広場 ボランティア団体、関係団体等14団体出展 ・来場者676名 ・ころつながる作品展 応募件数71件・作品数113点・来場者409名 ・啓発パネル作成
通年取組	イベント等;49件・6,336名、情報発信;10件・52,410部

■ 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

・実施回数：6回、延べ258名参加

テーマ	開催日	参加者数	テーマ	開催日	参加者数
不登校・ひきこもり当事者家族	5/23	46	“薬物依存”について	11/28	29
統合失調症当事者	7/18	55	場面緘黙当事者家族	12/26	47
知的障害当事者家族	9/26	50	強迫症当事者家族	3/27	31

■ 月刊誌等による情報発信・課題の啓発

・発行回数：12回/年、部数：10,000部/1回、配布先：2,100箇所

特集コーナー 36団体紹介	ボランティア・セルフヘルプグループ、企業の社会貢献等活動、助成金・情報発信の活用、新メンバーの受入団体と運営のコツ等
情報コーナー 198記事	ボランティア募集・提供、セルフヘルプグループ、イベント・講座、助成金等

■ きょうと「こどもみらい笑顔便」

(ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区、京都南ライオンズクラブ、京都洛南ライオンズクラブ、京都市等との連携)

8月	12月	3月
西京区(69件)	右京区(94件) 下京区(24件)	上京・左京区(68件)、南区(31件)

■ 市・区災害ボランティアセンター事業

	実施内容
市域での講座・研修、出張講座等の開催	10回開催 延べ506名参加
市・区災害ボランティアセンター設置運営訓練	北2回、上京1回、左京1回、中京3回、東山1回、山科1回、下京3回、南2回、右京2回、西京1回、伏見1回、市域1回 19回実施、延べ3,605名参加

3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績

(1) 施設の提供

ア ボランティアビューローの運営管理

市域で活動するボランティアグループ連絡会の活動が円滑に展開できるよう、ビューロー内に設置したロッカーの貸出及び、京都ボランティア協会と連携し、多くのボランティアの活動の場としてボランティアビューローを開放した。

【ロッカーの貸出】 60 団体

【ボランティアビューロー利用者】 団体 305 団体、延べ 2,346 名

イ パソコンコーナーの運営管理（パソコンボランティアネットワーク連絡会との連携）

高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図るとともに、ボランティアの専門性をより高めることを目的に、京都市福祉ボランティアセンター利用登録団体の内、高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図ることを目的にパソコンボランティア団体等に対して講習スペース等の供用を行った。

【利用団体】 5 団体他

【相談および講習への来所者】 延べ 1,899 名

【対応ボランティア人数】 延べ 1,086 名

ウ センター施設、設備、備品の貸出（団体支援）

センター施設・設備・備品の貸出

センター開所日数	346 日	来所者・入場者数	延べ 68,416 人
一日平均利用者数	198 名	利用登録団体数	368 団体
ミーティング室利用	延べ 865 回	録音室利用	延べ 79 回
印刷機材利用	延べ 1,981 回	パソコン利用	延べ 134 回
その他備品	延べ 173 回		

エ 福祉の保険（ボランティア保険、行事保険等）事務

ボランティア活動者に対するサポートとして、福祉の保険（ボランティア保険・行事保険等）の紹介・取次ぎを行った。

【ボランティア保険加入者】 26,805 名 【福祉行事保険加入者】 198,763 名

【加入者による事故】 53 件

(2) 相談及び指導

ア 助成に関する支援 民間助成、各種ボランティア表彰・顕彰に関すること

各種助成情報を収集し、ホームページやメールマガジン等で積極的に情報提供した。また、団体・グループからの助成制度に関する個別相談にも、制度紹介や推薦などコーディネートを行った。

【推薦団体数】16 団体 【助成交付団体】7 団体

【公募・推薦（令和7年度助成決定一覧）】

助成団体名、または基金名	推薦 件数	決定 件数	決定額
公益財団法人大和証券福祉財団	1	1	499,000 円
公益財団法人ユニバーサル財団	1	1	140,000 円
公益信託京都ライオンズクラブ	2	2	各 50,000 円
一般社団法人親切会 関西支部寄付金	3	3	各 30,000 円

・民間助成団体・福祉財団の助成事業申請に関わる連絡調整及び推薦

大阪ガス福祉財団「高齢者福祉助成」推薦事務を、区社協との連携のもと実施した。

【申請総数】3 団体・事業 【助成交付団体】2 団体・事業

・各種表彰・顕彰等に対する推薦

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰への候補者推薦

＜厚生労働大臣表彰受賞者＞ 手話サークルあすなろ'82

＜厚生労働大臣感謝状受賞者＞ 人形劇サークルさんりんしゃ

京都市長表彰（社会福祉事業協助者関係）への候補者推薦

＜京都市長表彰受賞者＞【個人】34 名／【団体】7 団体

京都市社協会会長表彰（社会福祉事業奉仕活動表彰）への候補者推薦

＜京都市社協会会長表彰受賞者＞【団体】1 団体

社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団第 51 回産経市民の社会福祉賞＜採択＞

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団令和 7（2025）年度京都新聞福祉賞＜採択＞

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団令和 7（2025）年度京都新聞福祉奨励賞＜採択＞

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団令和 7（2025）年度京都新聞福祉奨励賞＜選外＞

イ ボランティア活動に関する相談・コーディネート

一般市民やボランティアグループ・団体、企業等の相談に対し、ボランティア及びその関連情報の提供や紹介、コーディネートを行った。 【年間相談件数】1,258 件

＜内訳＞

相談者属性別				相談分野別		相談内容別	
一般市民	402	行政	44	高齢者	155	V したい	126
VG・NPO	406	企業・団体	32	障がい者・児	101	V してほしい	93
福祉施設	56	地域団体・役員	6	児童・青少年	130	V 情報発信	92
関係機関	43	学区社協	5	その他の福祉	453	V 助成	92
学校	17	老人クラブ	1	医療・保健	15	V 保険	121
医療	2	その他	24	災害	17	V 講座・研修	81
社協	151	不明	30	国際	9	V 施設・設備	169
マスコミ	4			環境	8	V その他	231
				その他	213	子どもの居場所	0

不明	157
----	-----

物資の提供	35
衛生管理	1
子ども・家庭	1
資金	4
不明	212

(3) 調査及び研究

ア 運営委員会の開催

回	開催日	議題
第1回	令和7年5月19日(月)	・令和6年度事業報告(案)について ・意見交換
第2回	令和8年3月6日(金)	・令和8年度事業計画(案)について ・意見交換

イ 登録団体管理・分析 利用実態調査及び利用アンケートの実施

利用登録団体を対象にセンターの利用頻度や目的、設備や備品についてのアンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めた。【送付数】368 団体 【回答数】179 団体

(4) 情報収集及び提供

ア HP、SNS 等を利用した情報発信（個別ニーズへの対応強化）

- ・本センター主催事業やボランティア関連情報及びボランティアグループ、市民活動団体からの情報等について、随時ホームページを更新して情報発信

【アクセス件数】計 126,606 件（月平均：10,551 件）

- ・インターネット環境が整っていないボランティアグループなどに対し、FAX 等で申し込みを受け付け、イベントや研修情報、ボランティア募集などの情報発信を支援

【情報発信件数】303 件

- ・Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram の3種類の SNS で、イベント・講座情報やボランティア募集等の情報発信を多世代に向けて実施

Facebook【回数】68 件、X(旧 Twitter)【回数】68 件、Instagram【回数】68 件

- ・メールマガジン（週刊・助成情報を含む）の発行により、利用者のニーズや利便性を考慮し、適切で迅速な情報発信

「助成金情報」の発信（随時）【登録者】694 名 【回数】133 回

イ 機関紙（月刊誌）による情報発信・啓発・ボランティア活動振興

- ・ボランティア活動を希望している人、関心のある人への情報提供のため月刊誌を発行した。

【発行回数】年間 12 回 【発行部数】各回 10,000 部

【内容】ボランティア活動促進・啓発等に係る特集記事、ボランティア募集、イベント情報、セルフヘルプ（自助）グループ情報、

区ボランティアセンターからの情報等

【発送先】2,100 箇所

号	特集記事
4月号(245号)	魅力いっぱい！Let's ボランティア！
5月号(246号)	気づいたら、ほっとけない！
6月号(247号)	助活！“価値観の一致”が重要！
7月号(248号)	私のスキルが役に立つ！
8月号(249号)	私のこと 家族のこと
9月号(250号)	私たちの得意なことでボランティアを応援します！
10月号(251号)	生成 AI はボランティア団体の頼れる新戦力！
11月号(252号)	結局、セルフヘルプグループってなにをするの？なにが良いの？
12月号(253号)	そのお悩み ボランティアセンターに聞いてみよう！
1月号(254号)	続けるコツ・変えるコツ
2月号(255号)	初心者が参加をためらうそのチラシ
3月号(256号)	若い世代の「やってみたい！」を引き出すヒント

ウ 福祉ボランティア活動に関する資料集積・提供

ボランティアパークでの配架資料 市内・全国の福祉・ボランティア団体・グループ等の広報物 1,011 件（ボランティア募集情報、イベント・講座情報、団体情報・広報等）、ボランティア情報コーナー閲覧用の登録資料、福祉・ボランティア関連書籍、映像資料、報告書類等 2,743 点

※「ひと・まち交流館京都」図書コーナー貸出用含む

エ 団体情報検索システムの管理運営

ひと・まち交流館 京都「団体情報検索」システムを活用し、登録団体の情報発信等、活動の広報に取り組んだ。

【登録団体】57 団体

オ マスメディア（新聞、TV、ラジオ、ネット等）を活用した情報発信

京都新聞、市民しんぶん、テレビやラジオ局などマスメディアに対し、適時に講座やイベント情報等の提供を行った。

（５）講座・研修等の開催

ア 人材育成に関わる研修の実施、調査、研究

・Let's ボランティア！ボランティア入門講座(対面)

開催日	内容	人数
令和7年4月25日(金)	Let's ボランティア!ボランティア入門講座」 講師 京都市福祉ボランティアセンター	12
令和7年6月18日(水)		2
令和7年8月1日(金)	京都 YMCA こおろぎ(4月)	10
令和7年10月7日(火)	京都市左京区地域介護予防推進センター(6月)	12
令和7年12月10日(水)	児童養護施設 平安養育院(8月)	5
令和7年2月5日(木)	一般社団法人 京都ボランティア協会(10月)	15
	京都府立体育館 スポーツボランティア協議会 はぐくみ(12月)	
	ゆるくる実行委員会(2月)	

・Let's ボランティア！ボランティア入門講座(配信)

開催日	内容	申込数
令和7年4月30日(水) ～5月31日(土)	Let's ボランティア!ボランティア入門講座」 講師 京都市福祉ボランティアセンター	25
令和7年6月19日(木) ～7月31日(木)		17
令和7年8月5日(火) ～9月30日(火)	京都 YMCA こおろぎ(4月)	26
令和7年10月8日(水) ～11月30日(日)	京都市左京区地域介護予防推進センター(6月)	23
令和7年12月12日(金) ～1月31日(土)	児童養護施設 平安養育院(8月)	9
令和8年2月9日(月) ～3月31日(火)	一般社団法人 京都ボランティア協会(10月)	28
	京都府立体育館 スポーツボランティア協議会 はぐくみ(12月)	
	ゆるくる実行委員会(2月)	

・ボランティアコーディネーター養成研修

開催日	内容	人数
令和7年7月3日(木)	ボランティアコーディネーター研修～基礎編～ 講師 青山織衣 氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)	15
令和7年7月24日(木)	ボランティアコーディネーター研修～ステップアップ編～ 講師 青山織衣 氏 (社会福祉法人大阪ボランティア協会)	13
令和7年7月12日(土)	ボランティアコーディネーション力3級検定 主催 日本ボランティアコーディネーター協会	4
令和7年10月19日(日)	ボランティアコーディネーション力2級検定 主催 日本ボランティアコーディネーター協会	2

・Let's チャレンジ！ 助成金準備講座

開催日	内容	人数
令和7年5月29日(木)	講師 京都市福祉ボランティアセンター	17
令和8年1月21日(水)	講師 京都市福祉ボランティアセンター ゲスト 花パソ	7

・Let's チャレンジ！ 助成金個別相談会

開催日	内容	人数
令和7年7月25日(金)	Let's チャレンジ！ 助成金準備講座受講者へのフォローアップ 講師 京都市福祉ボランティアセンター	3
令和7年10月23日(木)	Let's チャレンジ！ 助成金準備講座受講者へのフォローアップ 講師 京都市福祉ボランティアセンター	4

・助成金活用セミナー（市民活動総合センターと共催）

開催日	内容	人数
令和7年8月23日(土)	助成金を知ろう！ 講義 助成金とは ワーク 助成金要項を読んで、申請書に記入してみよう 講師 土坂のり子 氏（特定非営利活動法人きょうとNPOセンター）	17
令和7年8月30日(土)	助成財団・企業と会おう！話そう！ 参加財団・企業の事業の説明等 ①公益財団法人さわやか福祉財団 ②近畿労働金庫 地域共生推進室 ③公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	23

・グラフィック・レコーディング・セミナー

開催日	内容	人数
令和7年7月5日(土)基礎編	講師 三宅 正太 氏	34
令和7年8月2日(土)応用編		19
令和7年12月13日(土)基礎編		34
令和8年1月24日(土)応用編		19

・マンツーマンで教わる！シニアのスマホ解決講座

開催日	内容	人数
令和7年7月11日(金)	講師 ばそぼらんど京都	21
令和7年12月5日(金)	講師 ばそぼらんど京都	21

・スマホ講座 スマホとAIでくらしをもっと便利に！

開催日	内容	人数
-----	----	----

令和8年1月29日(木)	講師 花パソ	13
・ボランティア活動の新戦力 生成AI活用講座スマホ講座		
開催日	内容	人数
令和8年2月13日(金)	講師 花パソ	17
・情報発信のコツ講座		
開催日	内容	人数
令和7年7月28日(月)	今より伝わるチラシの作り方 講師 山中 美知世 氏 (特定非営利活動法人やさしいデザイン)	11
令和7年9月26日(金)	今より使えるインスタグラム 講師 山中 美知世 氏 (特定非営利活動法人やさしいデザイン)	20
・ボランティア団体のための広報相談会		
開催日	内容	人数
令和7年10月18日(土)	講師 NPO 法人やさしいデザイン／花パソ	9
・LINE スタンプをつくろう！		
開催日	内容	人数
令和7年11月8日(土)	ボランティア団体資金調達講座 講師 三宅 正太 氏／京都市福祉ボランティアセンター	11
・自分を守る～からだ&災害編～		
開催日	内容	人数
令和7年6月14日(土)	講師 特定非営利活動法人日本教育再興連盟 (ROJE)／わたげプロジェクト／特定非営利活動法人お客様がいらっしゃいました.	5
・ネクストステージを考えるボランティア入門講座		
開催日	内容	人数
令和8年3月14日(土)	講師 特定非営利活動法人 音の風／京都史跡ガイドボランティア協会／特定非営利活動法人 京都市地域 IT アドバイザー会／特定非営利活動法人 Reframe	27

イ 福祉教育の推進

- ・小中高生向け福祉教育の強化

学校や地域などにおいて、障がいのある人となない人が相互に交流する機会を広げることにより、障害や障害のある人への理解を促進する取組であるほほえみ交流活動事業推進委員会に出席した。

- ・出前講座の開発（全世代を対象とした講座プログラムの開発及び実施）

「思いを聴く～当事者・当事者家族～」新たな福祉教育推進事業

社会的に孤立しがちな人やその家族など誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するため、区域や学校や企業などの単位で当事者やその家族の思いを発信し、地域社会の課題を

我が事として捉える機会を提供するため開催した。

開催日	テーマ	ゲスト	依頼団体	人数
令和7年6月21日(土)	強迫性障害	今吉 扶美 氏 (強迫友の会 OBRI オブリ 代表)	京都市地域包括支 援センター・在宅 介護支援センター 連絡協議会	104

※ ファシリテーター 白水 育世 氏

・多様化する社会課題への理解の促進「思いを聴く」講座等

当事者や当事者家族から、自身の経験や支援者との出会い、支援者としての活動に至った経緯や団体の活動などのこれまでの経験や変化、今そしてこれからの思いを発信していただく場として開催した。

開催日	テーマ	人数
令和7年5月23日(金)	不登校・ひきこもり当事者家族 ゲスト 上坂 秀喜 氏 (東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」“シオンの家” 世話人)	46
令和7年7月18日(金)	統合失調症当事者 ゲスト 湊 高広 氏 (右京区 就労支援継続A型就労支援センター とも)	55
令和7年9月26日(金)	知的障害者当事者家族 ゲスト 富田 千果子 氏 (NPO 法人障害者芸術推進研究機構 (天才アート KYOTO) 理事)	50
令和7年11月28日(金)	薬物依存について ゲスト 出原 和宏 氏 (NPO 法人京都 DARC 施設長)	29
令和7年12月26日(金)	場面緘黙症当事者家族 ゲスト 辻田 和彰 氏 (場面緘黙親の会 代表)	47
令和8年3月27日(金)	強迫症当事者家族 ゲスト 今吉 扶美 氏 (強迫友の会 OBRI オブリ 代表)	31

※ ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内 彩乃 氏

(6) 活動者相互の交流の促進

ア 当事者団体、ボランティア活動団体への支援及び連携強化

・ほほえみ広場 2025 への協力

実行委員会構成団体として運営をサポートした。ボランティアコーディネートを行い、YouTube 動画でボランティア講座を受講したボランティア 14 名が活動した。

- ・天皇盃 第 37 回全国車いす駅伝競走大会への協力
構成団体として運営をサポートした。5 名の市・区社協職員がコーディネートを行い、スタート地点及び各中継所で 10 名のボランティアが活動した。
- ・ほほえみ交流活動事業への協力
学校と福祉施設との体験学習の依頼、調整を行った。(2 件)

イ 中間支援組織、大学、企業との連携によるボランティア活動振興

- ・京都市市民活動総合センターとの連携し、助成金活用セミナーの開催、ボランティア・市民活動団体の活動支援を行った。
- ・京都 SKY センターが主催するボランティアイベントに出展し、高齢者にボランティア活動への参加のよびかけや活動紹介を行った。

開催日	イベント
令和 7 年 11 月 29 日(土) 30 日(日)	第 6 回 SKY ボランティア活動見本市

- ・京都市長寿すこやかセンターとの連携
広報企画プロジェクトを開催し、若年性認知症当事者と大学生を中心とした 30 歳までの人のボランティア活動支援を行った。広報には公益財団法人京都ユースサービス協会の協力を得た。

【開催回数】9 回 【参加人数(延べ)】107 人

- ・ボランティアイベントへの出展
大学ボランティアセンター等の主催するボランティアイベントに出展し、大学生等にボランティア活動への参加呼びかけや活動紹介を行った。

開催日	イベント	主催
令和 7 年 5 月 17 日(火)	ボランティアフェスタ 2025	京都産業大学
令和 7 年 11 月 13 日(木)	2025 秋ソーシャルさんかく EXPO	京都産業大学
令和 7 年 5 月 25 日(日)	合同ボランティア説明会	京都市ユースサービス協会

- ・企業・団体等の社会貢献活動との連携
株式会社セブン・イレブン・ジャパン及び京都市と協定を締結し、生活に困難を抱えた個人・世帯等への支援や地域社会福祉の推進を図るため、企業の社会貢献活動の一環として株式会社セブン・イレブン・ジャパン所有の商品の寄贈をうけた。寄贈商品は、センター及び各区社会福祉協議会を通じて、子ども食堂をはじめ、居場所活動を行うボランティア団体や障害者福祉施設、生活困窮者支援施設など様々な活動団体等に配分し、活用した。

- ・商品寄贈一覧表

配送日	配送数
令和 7 年 8 月 8 日(金)	食品 22 雑貨 24
令和 7 年 12 月 17 日(水)	食品 13 雑貨 5
令和 8 年 1 月 30 日(金)	食品 1 雑貨 1

令和 8 年 2 月 12 日 (木)	食品 12 雑貨 12
令和 8 年 2 月 24 日 (火)	食品 21 雑貨 19
計	食品 69 雑貨 61

・大学及び大学ボランティアセンターとの連携

「大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ宣言」参加の 5 大学と、災害ボランティア活動をはじめ、被災地視点活動について情報交換を行った。

【5 大学】京都産業大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学

パートナーシップ宣言大学情報交換会

開催日	内容
令和 8 年 1 月 13 日 (火)	1 大学ボランティアセンターの主な取組や事業について 2 災害に関する取組について

ウ 福祉ボランティア活動団体との連携

・パソコンボランティアグループ連絡会「パソコンボランティアネットワークきょうと」

情報・IT 機器を使用したボランティアグループによる連絡会を、情報交換、共同事業など相互の活動充実のため、本センターとして支援した。

【連絡会開催回数】2 回 (6 月、3 月)

・「お客様がいらっしゃいました。」との連携

生理の貧困から女性支援・性教育等に取り組む団体と、生理用品・日用品配布会を実施した。

【開催回数】3 回 (4 月、9 月、3 月)

・「京都ボランティア協会」との連携

ボランティア活動に関わる相談・コーディネートにおける連携・協働

(7) 災害ボランティア活動の推進

ア 京都市災害ボランティアセンターの共同運営

・役員会、運営会議の開催

会議	開催日	議題
役員会	令和 7 年 5 月 14 日 (木)	・令和 7 年度事業報告 (案) 及び決算 (案) について ・令和 7 年能登半島地震への支援活動について
	令和 8 年 3 月 (書面審議)	・令和 8 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について
運営会議	令和 7 年 4 月 11 日 (金)	・令和 7 年度の事務局構成について ・令和 7 年度第 1 回役員会について
	令和 7 年 6 月 20 日 (金)	・市民向け講座、及び職員研修について ・社会福祉予算対策活動について

	令和7年8月22日(金)	・令和7年8月6日から大雨による災害ボランティアセンターの動きについて ・市区災害ボランティアセンター設置運営訓練について
	令和7年10月20日(月)	・職員研修、出張講座について
	令和8年12月19日(金)	・出張講座について ・区災害ボランティアセンター設置運営について
	令和8年1月7日(水)	・資機材、備品の棚卸、確認
	令和8年2月20日(金)	・令和7年度第3回役員会について ・令和8年度の取組について

・研修、訓練、情報収集・発信等の関連事業の実施

京都市総合防災訓練への参加

令和7年京都市総合防災訓練において、京都市災害ボランティアセンター及び災害ボランティア活動の広報・啓発活動を行った。

開催日	会場	内容	人数
令和7年11月1日(土)	岡崎公園	①災害ボランティアの取組風景のパネル展示 ②災害ボランティアに関する動画上映 ③運営サポーター制度の啓発 ④アンケートの実施 ⑤ノベルティの配布	70

・市・区災害ボランティアセンター関係機関職員の訓練機会の提供

市・区災害ボランティアセンター新任関係職員への研修の実施

開催日	内容	人数
令和7年10月30日(木)	令和7年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当者新任研修 講師 李 仁鉄 氏(特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)	32

・市・区災害ボランティアセンター関係職員を対象とする合同研修等の実施

開催日	内容	人数
令和7年10月30日(木)	令和7年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当合同研修 【報告者】高木伸安 氏(七尾市役所) 谷口卓也 氏(七尾市社協) 【ファシリテーター】李 仁鉄 氏 (特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)	60

・他都市災害ボランティアセンター等との連携

被災地への支援取組

令和6年能登半島地震・豪雨により、京都府下に避難されている避難者を対象に、避難者の交流や相談会の開催に協力した。

開催日	内容	人数
令和7年6月1日(日)	第2回「能登きまっしカフェ」 交流会、個別相談会	41 (内、避難者 13)

- ・企業、大学等との連携、研修開催

令和6年11月29日に締結した「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を基に、公益財団法人京都青年会議所と連携協働を深めるための情報交換を行った。

開催日	内容
令和7年4月23日(水)	・担当者の顔合わせ ・情報交換
令和7年8月22日(金)	・市災害ボラセン設置運営マニュアル、手順書に係る情報交換

- ・災害対応における環境整備

センター運営に必要となる活動資機材の購入

購入資機材	数量
ポータブル電源	5台
緊急用組立式トイレ	6台
非常用トイレ	100回分
工業ミストファン	1台

- ・区災害ボランティアセンターの運営体制整備のため助成事業

行政区	内容
下京区	【開催日】 ①令和7年12月5日(金)13時45分～16時 ②令和7年12月7日(日)10時～12時 【場 所】 ①しんらん交流館 大谷ホール ②北総合支援学校 中央分校 【目 的】 災害ボランティアセンターの啓発 【内 容】 パネル等を活用した普及・啓発
中京区	【開催日】 令和8年1月24日(土)13時30分～16時 【場 所】 中京区役所 【目 的】 災害ボランティアセンターの啓発及び、防災学習 【内 容】 親子を対象とした防災を学ぶイベント

イ 災害ボランティア入門講座の開催

災害時に活動する人材（災害ボランティアセンターサポーター）の育成を目的に関心のある市民を対象に開催した。

開催日	内容	人数
令和7年6月7日(土)	令和7年度災害ボランティア入門講座 講師 京都市行財政局防災危機管理室 地域防災推進課長	46

	関根 正孝 氏(公益財団法人ピースボート災害支援センター) 内容 ・「災害に強いまち京都」の取組について ・防災、減災の基礎知識、「受援力」などに関する講義 ・防災カードゲームを使ったワークショップ 等	
--	---	--

・出張型災害ボランティア講座

開催日	依頼団体	人数
令和7年5月28日(水)	京都府立東陵高等学校	39
令和7年11月13日(木)	京都産業大学	15
令和8年1月16日(金)	ライオンズクラブ国際協会335-C地区	120

ウ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練等の実施

区総合防災訓練の一環として、区民への区災害ボランティアセンターの周知、及び設置候補地でのセンター設置の検証を目的として、区社協及び区役所等と連携した訓練の企画・運営に関する支援を行った。

区	日程	会場	主な内容
北	①令和7年11月1日(土) ②令和7年12月22日(月)	①船岡山公園 ②京都教育大学付属京都小中学校	①区民対象の啓発活動 ②設置候補地の視察・打合せ
上京	令和7年10月26日(日)	上京区総合庁舎	区民対象の啓発活動
左京	令和7年11月30日(日)	左京区役所	区総合防災訓練での啓発活動
中京	①令和7年8月14日(木) ②令和7年10月10日(金) ③令和7年10月26日(日)	①中京区社協 ②佛教大学二条キャンパス ③中京中学校	①マニュアルの確認 ②設置候補地の視察・打合せ ③区総合防災訓練での啓発活動
東山	令和7年10月19日(日)	新道自治会館	区総合防災訓練での啓発活動
山科	令和8年2月6日(金)	山科区社協	関係機関との意見交換・机上訓練
下京	①令和7年12月5日(金) ②令和7年12月1日(月) ③令和8年1月22日(木)	①しんらん交流会館 ②北総合支援学校中央分校 ③京都産業大学むすびわざ館	①区総合防災訓練での啓発活動 ②区民対象の啓発活動 ③設置候補地の視察・打合せ
南	①令和7年8月26日(火) ②令和8年3月6日(金)	①②南区社協	①②関係者との意見交換、設置候補地机上検証訓練
右京	①令和7年10月25日(土) ②令和8年1月15日(木)	①右京ふれあい文化会館・太秦安井公園 ②右京区役所・京北出	①区民対象の啓発活動 ②設置候補地現地検証訓練

		張所	
西京	令和 8 年 1 月 20 日(火)	西文化会館ウエスティ	設置候補地における設置・運営訓練
伏見	令和 7 年 12 月 14 日(日)	龍谷大学深草キャンパス	区総合防災訓練での設置・運営訓練、啓発活動

・災害時要配慮者支援に関する研修会

開催日	内容	人数
令和 7 年 11 月 16 日(日)	令和 7 年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 講師 永野 海 氏(弁護士、防災士)	15

(8) その他事業

ア 区ボランティアセンター（区社協）との連携・協働

「地域福祉コーディネーター会議」（地域支援部と共管）を開催し、各区ボランティアセンター事業の進捗確認、相談対応による地域（生活）課題とその解決に向け、協議した。また、区ボランティアセンター事業担当者を対象に事業説明会や意見交換会を開催し、事業概要の説明及び意見交換による理解促進と担当者間の横のつながりづくりを進め、コーディネーション力の向上に努めた。

・地域福祉コーディネーター職員研修

開催日	内容	人数
令和 7 年 8 月 2 日(木)	地域福祉コーディネーター職員研修災害ボランティアセンターの運営について 講師 京都市福祉ボランティアセンター	12
令和 8 年 3 月 21 日(月)	オリックス宮内財団“子ども食堂”応援プロジェクト 2026 年度上期助成説明会 講師 川端 潔 氏（公益財団法人オリックス宮内財団）	6
令和 8 年 3 月 18 日(水)	子どもの居場所に関する相談対応について 講師 石井 祐理子 氏（京都光華大学 教授）	12

イ 共同募金配分金事業の調整

- ・kyoto ところつながるプロジェクトの開催
- ・地域福祉情報発信事業（広報誌「福祉のまちづくり」の発行）
- ・障害者団体活動助成（一般募金、NHK 歳末たすけあい）

ウ 「kyoto ところつながるプロジェクト」の実施

すべての人が、つながり支え合い、多様な価値観を認め合う社会を目指して、市区社協総体で「kyoto ところつながるプロジェクト」を開催した。

・市区社協・事業所を含めた取組（通年）

【イベント等】49 件・6,336 名、【情報発信】10 件・52,410 部

つながるフェス（ボランティア支援部の主管事業）

開催	内容	人数
令和7年 10月4日(土)	【会場】 ゼスト御池 河原町広場 【テーマ】 出会い、つながる、きっかけの場 【内容】 ボランティア団体のワークショップや体験コーナー、ボランティア相談など 【参画団体】 京都民事調停協会、京都人権擁護委員協議会、京都府共同募金会、京都 PANA-ALC、日本教育再興連盟（ROJE）、山科醍醐こどものひろば、京 自助具館、特定非営利活動法人京都運転ボランティア友の会、ゆるくる実行委員会、ほっとマナ、京都市社協(京都市長寿すこやかセンター、京都市福祉ボランティアセンター)「認知症広報企画プロジェクト」	676

エ きょうと「こどもみらい笑顔便」の実施

支援が必要な子育て家庭への食品等の配送や LINE アプリ等を活用した情報発信等により、気軽に相談できる関係づくりと、課題や困りなど様々な支援等へつなぐ取組をライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区、京都市等との連携・協働により進めています。

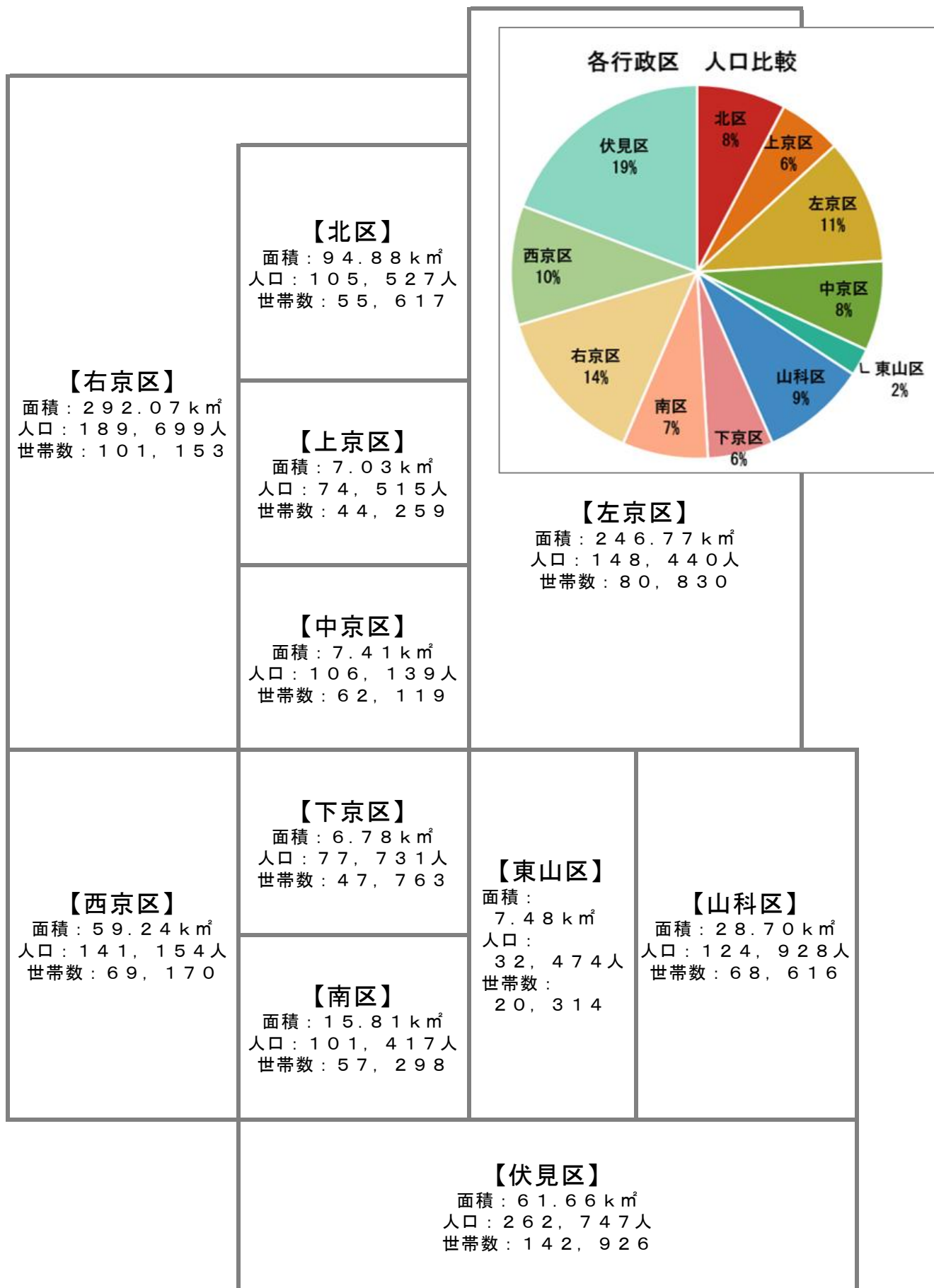
今年度は上京区、左京区、南区、右京区、西京区に加え、新たに下京区において実施した。

	梱包作業	配送日	利用世帯数
第19回	令和7年8月21日(木)	令和7年8月21日(木)～8月22日(金)	69
第20回	令和7年12月9日(火)	令和7年12月9日(火)	24
第21回	令和7年12月18日(木)	令和7年12月18日(木)～19日(金)	94
第22回	令和8年3月10日(火)	令和8年3月10日(火)	31
第23回	令和8年3月17日(火)	令和8年3月18日(水)～3月19日(木)	68

Ⅱ 各区ボランティアセンターの活動状況

各区の概要（令和8(2026)年4月1日現在）

京都市統計ポータル「住民基本台帳人口」より引用



区ボランティアセンター運営事業実施要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(趣旨)

第1条 本要綱は、京都市「区ボランティアセンター運営事業」を市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）が実施するにあたり必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 本事業は、ボランティア活動に参加したい人が誰でも参加できるよう地域住民のニーズを積極的に開拓するとともに、活動に当たって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努めることを目的とする。

(開所)

第3条 区ボランティアセンターの開所日及び開所時間は、毎週月曜日から金曜日の午前9時から午後5時とし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から31日及び1月1日から3日は閉所する。

(実施事業)

第4条 本事業は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 活動振興援助事業

活動資金確保のための民間助成財団等の活用サポート、ミーティングスペースや各種資機材の貸出し、活動中の事故に備えたボランティア保険の取次ぎ等、日常の円滑な運営や活動・事業をサポートすること

(2) 情報の収集・啓発事業

ボランティア活動に関する各種情報を収集し、広報物やインターネット等を活用して、広く地域住民やボランティア活動者に提供すること

(3) 災害対策のための環境整備事業

災害時、被災者に対する支援ボランティア活動が円滑に行われるよう、平常時から関係機関・団体等との連携を強化し、人材育成、啓発、ネットワークづくり、マニュアル整備などの環境整備を推進すること

2 その他ボランティア振興に係る(1)～(4)の取組を行うよう努めるものとする。

(1) 相談及び助言（助成団体の紹介・団体、企業を含む多様な主体からの相談及び助言など）

(2) 調査及び研究（大学・大学ボランティアセンター、中間支援団体、企業と連携した実態把握・活動促進）

(3) 講座・研修等の開催（学区社協、教育施設、企業等への福祉教育の実践強化）

(4) 活動者相互の交流の促進（多様な機関・団体との連携強化）

(実施方法)

第5条 前条に定める実施事業については、各区社会福祉協議会（以下「各区社協」）へ委託

して実施するものとする。

2 市社協は、各区ボランティアセンター事業への相談、援助、指導を行うものとする。

(委託料)

第6条 前条に規定する事業を行うために必要な経費として、市社協は各区社協に委託料を支払う。

2 本事業の委託料は、上限を57万円とする。

積算は、事業費として57万円とする。

3 委託料を受けた区社協が、次の各号のいずれかに該当するときは、市社協は区社協に対して委託料の全部又は一部の返還を求めることができる。

(1) この要綱の規定又は委託契約書の事項に違反したとき

(2) その他、市社協が特に不適当と認めたとき

(計画・報告)

第7条 各区社協は、事業年度開始時に区ボランティアセンター事業に関する事業計画を、ならびに事業年度終了後に事業実施報告書を、それぞれ別に定めるところにより市社協に提出するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、区ボランティアセンター運営事業に関して必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

この要綱は、平成27年4月1日から実施する。

この要綱は、平成29年4月1日から実施する。

この要綱は、令和4年4月1日から実施する。

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】 <u>専有</u> ・共有(81㎡)	
	【貸出し件数】 85件	
	【延べ利用人数】 719人(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】 431件(うち、印刷機器 246件、その他機材 185件) 【貸出し物品】(車椅子、液晶プロジェクター、スクリーン、アンプ付きワイヤレスマイク、DVDデッキ、モルック)	
	ボランティア保険の加入促進	
2. 情報の収集、啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】 167団体 2400名	
	【行事保険】 165件 12997名	
	活動への助言、指導、支援など	
	随時実施	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】 北区ボランティア広報誌「プラスワン」 【回数】 年1回発行(3月) 【発行部数】 4,500部	
	その他広報物、報告書類等の発行	
3. 災害対策のための環境整備事業	【広報物・報告書など】 各種講座チラシ	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】 <u>あり</u> ・なし	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	—	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)北区総合防災訓練 【日 時】 令和7年10月26日(日) 9:00～11:30 【参画内容】 防災会議への参加及び訓練見学(天候不良のため縮小開催) 【参加者層・数】 防災関係団体、地域関係団体、紫野学区住民 等 約250名	
	(2)FUNAOKASTANDARD2025における災害ボランティアセンター啓発活動 【日 時】 令和7年11月1日(土) 10:00～14:00 【参加者数】 約100名 【内 容】 福祉まつり内にブースを設置、アンケートの実施及び災害ボランティアセンターの広報と啓発の実施	
	(3)令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日 時】 令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】 15名 【内 容】 被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	(1)北区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】 令和7年12月22日(月) 11:00～12:00 【場所】 京都教育大学付属京都小中学校 【参加者層・数】 附属小中学校高等部職員、北区役所職員、北区社協職員 6名 【内容】 発災時の災害ボランティアセンターの立ち上げ方法等を検討及び実地確認	
4. その他 ネット事業	実施体制	
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】 211件 【内訳】<Vしたい> 34件(内、マッチング25件)、<Vしてほしい> 9件(内、マッチング7件)、<その他> 168件 【主な相談内容】 ・ボランティアしたい、してほしい	

	・ボランティア保険について ・子どもの居場所づくり活動について など
	コーディネートを伴う事業
	—
	ボランティアの把握 合計 3,688名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究	4. その他／2
	調査・研究活動 —
4. その他／3	講座・研修等の開催 (1)点字教室 【日時】 令和8年2月21日(土) 10:00～12:00、令和8年2月28日(土) 10:00～12:00 【開催回数】 2回 【参加者】 延べ 6名(各回の参加者数 4名、2名) 【内容】 ・点字に関する座学と実技 ・手引き体験 ※簡潔に、簡条書きで 【ボランティア繋がった人数】 0名 (2)ボランティア入門講座 【講座名】 スマホ世代に聞こう スマホ講座 【協力】 北老人福祉センター、北青少年活動センター 【日時】 令和7年7月31日(木)13:30～、14:30～ 【開催回数】 2回 【参加者】 延べ 21名(各回の参加者数 11名、10名) 【内容】 ・スマホの使い方を教える活動の実践 ・ボランティアへのフィードバック ※簡潔に、簡条書きで 【ボランティア繋がった人数】 0名 (3)小学校における福祉教育プログラム 【期間】 令和 7年9月～11月 【参加者層】 4年生:5校 延べ270名、5年生:2校 延べ138名 【実施校】 上賀茂小、大宮小、待鳳小、鳳徳小、紫竹小、元町小、紫明小 【実施協力団体】 学区社協、学区民協、京都市北区視覚障害者協会、京都市聴覚障害者協会、NPO法人ALIZE、京都ライトハウス、 嵯野地域包括支援センター、ユーカーの里、カノン北山レジデンス 【内容】 ・聴覚障害 ・視覚障害 ・身体障害 ・高齢(認知症) ※学校からの申請に基づき実施する。 【ボランティア繋がった人数】 0名
	4. その他／4
交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】 理事会・評議員会 【開催回数】 3回 【構成団体数】 52団体 【構成団体名】 学区社協・社会福祉事業施設・区民協・社会福祉事業団体・社会福祉関係団体・学識経験者・社会福祉関係公務員 【議事内容】 令和 7年度事業報告並びに決算報告・令和 8年度事業計画並びに予算
	ボランティアグループ連絡会 —
	—
	—



ボランティア入門講座

「スマホ世代に聞いてみよう スマホ相談会」

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	貸出し無し	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】205件(うち、印刷機器 102件、その他機材 103件)	
	【貸出し物品】(車椅子、プロジェクター、スクリーン、紙折り機、ペーパーカッター、丁合機、高齢者疑似体験グッズ等)	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】109団体 1,456名	
	【行事保険】126件 8,518名	
2. 情報の収集・啓発事業	活動への助言、指導、支援など	
	学区社協相談会開催	
	子ども食堂立ち上げ支援、ボランティアグループ・市民活動団体の運営の助言など	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】	
	・「上京区社協だより」【回数】年1回発行(11月)【発行部数】27,900部	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】	
3. 災害対策のための環境整備事業	市民しんぶん上京区版での「区社協通信」記事掲載(毎月15日発行)	
	正親学区広報紙「正親だより」への寄稿を通じた情報発信	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】あり 随時更新	
	【その他】(1)Facebook、Instagramによる情報発信 (2)情報コーナーによる発信	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	(1)区防災会議への参画	
	(2)自主防災協議会本部会議への出席	
	(3)・上京の子どもまつり2025へのブース出展	
	①防災お菓子ポシェットづくり～お菓子で備蓄を考えよう～	
	②上京こども応援団 各団体紹介ブース	
	【日時】令和7年6月1(土)10:00～13:00	
	【参加者】児童50名、保護者数名、子どもの居場所運営団体	
	【内容】お菓子ポシェットづくりを通じて防災について考えてもらうきっかけづくり、上京こども応援団紹介コーナーを設置し、子どもの居場所の周知。	
	・正親学区防災一日デーへの協力	
	【日時】令和7年6月14(土)10:00～15:30	
	【参加者】児童60名、PTA役員、正親学区役員、消防、警察、区役所、区社協	
	【内容】お菓子ポシェットづくりを通じて防災について考える、地域の人と子どもたちが顔馴染みになるきっかけとなることを目的に実施。	
	・正親学区児童防災学習への協力	
	【日時】令和7年11月26(水) 10:50～12:00	
	【参加者】児童30名、保護者数名、正親学区民生、区社協	
	【内容】高齢者疑似体験セットを貸出して、装着の仕方や高齢者の身体についての説明。	
	・高齢サポート小川 日常生活圏域地域ケア会議への協力	
	【日時】令和7年9月28(水) 14:00～16:00	
	【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員	
	【内容】災害ボランティア、災害派遣について	
	・高齢サポート乾隆 日常生活圏域地域ケア会議への協力	
	【日時】令和7年10月30(水) 14:00～16:00	
	【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員	
	【内容】発災後72時間後の動き、災害ボランティアについて	
	・高齢サポート乾隆 日常生活圏域地域ケア会議への協力	
	【日時】令和7年12月24(水) 14:00～16:00	
	【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員	
	【内容】発災後72時間後の動き、災害ボランティアについて	

4. その他 1 相談コーディネート事業	・高齢サポート成逸 地域ケア会議への協力(聚楽学区) 【日時】令和8年1月14(水) 19:00～20:30 【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】災害ボランティアセンターについて ・高齢サポート成逸 地域ケア会議への協力(成逸学区) 【日時】令和8年1月15(木) 14:00～15:30 【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】災害ボランティアセンターについて ・高齢サポート成逸 地域ケア会議への協力(西陣学区) 【日時】令和8年1月20(火) 18:00～19:30 【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】災害ボランティアセンターについて ・高齢サポート成逸 地域ケア会議への協力(桃菌学区) 【日時】令和8年1月27(火) 19:00～20:30 【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】災害ボランティアセンターについて ・高齢サポート成逸 地域ケア会議への協力(室町学区) 【日時】令和8年2月6(金) 16:00～17:30 【参加者】民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】災害ボランティアセンターについて ・高齢サポート小川 日常生活圏地域ケア会議への協力 【日時】令和8年2月12(木) 14:00～16:00 【参加者】住協、民生、老福役員、医療福祉施設職員 【内容】発災後72時間後の動き、災害ボランティアについて
	災害時の要配慮者支援研修・訓練 (1) 令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備 ●区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和7年10月26日(日)11:00～14:00【場所】上京区総合庁舎2階 【参加者層・数】一般市民 合計約 2,000名 【内容】災害ボランティアセンターの役割や、ボランティアの活動内容について紹介 上京区災害ボランティアセンターのパネルを作成し展示
	実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 8:30～17:15 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容 【件数】217件 【内訳】<Vしたい> 11 件(内、マッチング 11件)、<Vしてほしい> 5件(内、マッチング 5件)、<その他> 201件 【主な相談内容】 ・ボランティアの紹介、地域活動、備品貸出等
	コーディネートを伴う事業 【事業名】知恵シルバーセンター事業の運営 【件数】2件【延べ人員】10名 【主なコーディネート内容】相談者への対応
	ボランティアの把握 合計 1,456名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)

調査及び研究 4.その他／2	調査・研究活動
	【名称】上京区子どもの居場所紹介ページの更新 【成果物】・「子どもの居場所紹介ページ」…区社協ホームページ内に開設。・上京ふくしマップの作成、編集、公開
等の開催 4.その他／3 講座・研修	講座・研修等の開催
	(1) 手話講座 【講座名】はじめての手話講座 【日時】ア. 令和8年2月14日(土)イ. 令和8年2月21日(土) いずれも14:00～15:30 【開催回数】2回 【参加者】延べ68名(各回の参加者数:ア. 34名イ. 34名) 【内容】京都市聴覚障害者協会上京支部・京都市手話学習会「みみずく」との共催で、区民向けの手話講座を開催。子どもから高齢者まで幅広い層が参加。毎年、定員を超える申し込みがあり、幅広い層から関心が高いことを実感している。講座終了後には、みみずくの例会の紹介を行い、手話表現の広がりやを学ぶきっかけをつくった。
4.その他／4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会
	【名称】】理事会・評議員会【開催回数】8回 【構成団体数】46団体 【構成団体名】区内学区社協、社会福祉施設、各種団体等 【議事内容】ボランティアセンターの振興について
	ボランティアグループ連絡会
	【名称】上京こども応援団(上京区子どもの居場所情報交換会)【開催回数】1回 【加入団体数】25団体 【加入団体名】区内子どもの居場所、幼稚園・保育園・小中学校、関係機関など 【主な議題】(1)コンアルカードゲーム体験 (2)各居場所の活動について情報交換



上京区民ふれあいまつり2025にて
区災害ボランティアセンターの啓発活動

令和7年度左京区ボランティアセンター事業実施報告書

京都市左京区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】 専有・共有	
	【貸出し件数】 82件	
	【延べ利用名数】 82名(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】 143件(うち、印刷機器82件、車椅子56件、その他機材5件)	
	【貸出し物品】(車椅子、プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスアンプ、マイク、点字器、缶バッチ製造機)	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】130団体 2,047名	
	【行事保険】 266件 10,924名	
	活動への助言、指導、支援など	
	助成金情報の提供、地域住民から寄付物品について寄付先(団体・施設)の紹介、健康すこやか学級への講師派遣、学区の研修会の相談・講師コーディネート、ボランティア相談者の学区社協・団体・施設へのコーディネート、子どもの居場所立ち上げ相談及び運営者間の連携サポートなど	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】 さきょうくしやきょうだより 第51号	
	【回数】 年1回発行(1月)	
	【発行数】 56,800部	
	その他広報物、報告書類等の発行	
3. 災害対策のための環境整備事業	【広報物・報告書など】(ボランティアセンター紹介チラシ、ボランティアグループ連絡会紹介チラシなど)	
	(1)『令和7年度左京区ボランティアセンターボランティアグループ連絡会からお知らせ』(ボランティア募集チラシ)	
	(2)『令和7年度左京区地域の活動一覧』(ボランティアグループ連絡会、居場所活動、学区社協主催の居場所の一覧)	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】 あり・なし ※SNS:Facebook、X、Instagram(4月運用開始)	
	【その他】子どもの居場所登録団体用区社協公式LINE	
	その他	
	区役所交流スペースを利用した参加支援と重層的支援の間口となる居場所の実施「はまんとふらっとさきょう」	
	【回数】 8回	
	【連携】 ボランティアグループ連絡会、障害事業所、児童館、図書館、京都工芸繊維大学、久多いきいきセンター他	
	名材育成、啓発、ネットワーク	
	ボランティア団体と自主防災会との連携サポート	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)左京区災害ボランティアセンターの取組の推進	
3. 災害対策のための環境整備事業	令和7年度左京区民ふれあいまつり	
	【日時】 令和7年11月30日(日) 10:00～14:00	
	【会場】 左京区合同庁舎	
	【主な内容】	
	・「防災支え合いはじめての一步プロジェクト」支え合いビブスの紹介(ステージ)	
	・災害ボランティアセンターの紹介(パネル展示、DVD上映)(以下、区社協ブース)	
	市原野学区総合防災訓練	
	【日時】 令和7年12月7日(日) 10:00～12:00	
	【会場】 市原野小学校	
	【主な内容】	
	・市原野学区在住プロジェクトメンバー(京都市手話学習会「みみずく」左京支部)、区社協職員	
	・受付にて「支え合いビブス」の説明、着用の呼びかけ	
	・訓練の1ブースとして、地域の聴覚障害者・手話通訳者・区社協職員が「啓発リーフレット」を配布し、プロジェクトの取組を説明	
	【参加者層・数】 市原野学区区民193名	
3. 災害対策のための環境整備事業	吉田学区総合防災訓練	
	【日時】 令和7年12月7日(日) 10:00～12:00	
	【会場】 第四錦林小学校	
	【主な内容】	
	・吉田学区在住プロジェクトメンバー(手をつなぐ育成会)、よしだ学園、ひかり学園、区社協職員	
	・育成会とよしだ学園、ひかり学園の利用者と保護者はビブスを着用して訓練に参加	
	・訓練講評前に、「啓発リーフレット」を配布し、プロジェクトの取組を説明	

4. その他 1 相談コーディネート事業	【参加者層・数】 吉田学区民200名 養正学区総合防災訓練 【日時】令和8年3月29日(日) 9:00～12:00 【会場】養正小学校 【主な内容】 ・プロジェクトメンバー(手をつなぐ育成会、左京区身体障害者連合会、京都市手話学習会「みみずく」左京支部)、区社協職員 ・受付にて「支え合いビブス」の説明、着用の呼びかけ ・訓練の1ブースとして、「啓発リーフレット」を配布しプロジェクトの取組を説明 【参加者層・数】 養正学区民230名 岩倉北学区総合防災訓練 【日時】令和8年3月1日(日) 10:00～12:00 【会場】岩倉北小学校 【主な内容】 ・災害机上訓練DIGの体験 【参加者層・数】 岩倉北学区民200名 (2)左京区総合防災訓練への参画 ※左京区ふれあいまつりのテーマが「減災・防災」であった為、訓練としては実施なし (3)令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	(1)左京区災害ボランティアセンター設置・運営訓練 3- (1) 左京区災害ボランティアセンターの取組の推進「令和7年度左京区民ふれあいまつり」に同じ
	実施体制
	【実施体制】 職員3名体制で実施 【開設日】 窓口・電話相談月～金 8:30～17:15 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応 ・電話・Eメールで問合せの際は聞き取り ・後日初回面談にて詳細を聞き取りマッチングを行う
	相談対応内容
	【件数】 77件 【内訳】<Vしたい>15件(内、マッチング14件)、<Vしてほしい>4件(内、マッチング4件)、<その他>69件 【主な相談内容】 ・地域の福祉サービスに関する問い合わせ ・ボランティア活動(活動先、寄付先等)に関する相談 ・生活福祉資金貸付に関する相談 ・食料無料配布に関する問い合わせ
	コーディネートに伴う事業
	—
	ボランティアの把握 合計 1,020名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老老福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法名格を有する当事者団体や、法名格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く(具体例:育成会、身障連、老老クラブなど)
調査及び研究 4. その他 2	調査・研究活動
	—

4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 認知症サポーター養成講座 ア) 【講座名】 修学院中学認知症サポーター養成講座(1年生) 【日時】 令和7年11月12日(水) 13:20～15:10 【開催回数】 1回 【参加者】 200名 【内容】 ・入門講座の復習、事例検討、グループワーク、発表、まとめ イ) 【講座名】 修学院中学認知症サポーターフォローアップ講座(2年生) 【日時】 令和7年11月14日(金) 14:20～15:10 【開催回数】 1回 【参加者】 165名 【内容】 ・「認知症とは」解説、事例検討、グループワーク、発表、まとめ ウ) 【講座名】 認知症あんしんサポーター養成講座(3校ともプログラムは共通) 【会場①】 葵小学校 【日時】 令和8年1月9日(火) 10:40～12:10 【開催回数】 1回 【参加者】 66名 【会場②】 下鴨小学校 【日時】 令和8年1月27日(火) 10:45～12:10 【開催回数】 1回 【参加者】 59名 【会場③】 市原野小学校 【日時】 令和8年2月17日(火) 10:40～12:10 【開催回数】 1回 【参加者】 49名 【内容】 ・オリエンテーション ・教材DVD鑑賞 ・講話(左京北地域包括支援センター) ・寸劇(下鴨学区社協、サービス事業所) ・グループワーク後、発表 ・まとめ (2) 左京区ボランティア講座「学んで広がるボランティアDAY」 【日時】 令和8年1月31日(土) 13:30～15:30 【開催回数】 1回 【参加者】 28名 【ブース参加団体】 ボランティアグループ連絡会6、子どもの居場所登録団体3、福祉事業所2、支え合い登録団体3 【内容】 ・ボランティア入門講座 ・区社協事業の紹介 ・参加団体の紹介 ・ボランティア団体による体験ブース・ワークショップ ・団体同士の交流 (3) 当事者、当事者家族の思いを聴く講座の開催 【日時】 令和7年10月31日(金) 13:30～15:30 【開催回数】 1回 【参加者】 29名 【登壇者】 ぼちぼちの会(失語症の会) 【内容】 ・失語症、会話パートナーについて ・ぼちぼちの会について ・当事者・当事者家族・会話パートナーのスピーチ ・グループトーク
--------------------	--

	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】 令和7年度 第3回事業財政・検討委員会(旧ボランティア委員会) 【開催回数】 2回 【構成団体数】 8団体 【構成団体名】 ・学区社協(川東学区社協、大原地域社協、岡崎学区社協、松ヶ崎社協、八瀬社協、別所学区社協) ・区民生児童委員会 ・公私社会福祉事業施設(花友しらかわ、ワークセンターHalle!、高野児童館) ・社会福祉事業団体(左京区身体障害者団体連合会) ・社会福祉関係団体(左京区地域女性連合会) ・ボランティアグループ(左京区ボランティアグループ連絡会) ・左京区役所健康福祉部 ・京都府立大学 【日時】 令和8年3月10日(月)10:00～12:00 【議事内容】 (1)地域福祉活動計画5期(案)について (2)区ボランティアセンター事業について (3)区社協事業・財政について 【日時】 令和8年3月3日(火) 10:00～12:00 【議事内容】 (1)区社協事業・財政について (2)区ボランティアセンター事業について ボランティアグループ連絡会 【名称】 左京区ボランティアグループ連絡会 【日時】 令和7年5月9日(金) 13:30～16:00 【開催回数】 1回 【参加団体数】 17団体 【加入団体名】 22団体 (1)高齢者関係 6団体 葵ピエロ小物づくりボランティア、ボランティアあゆみの会、配食ボランティア葵、ひとりぼっちのお年寄りをなくす会、フーちゃんの笑顔のつどい、手作りアート「るーぷアート」 (2)子ども関係6団体 子ども文庫やかまし村、図書館友の会けやき、わく星学校、SKYおもちゃ病院、子育てママ支援サークル★はじめのいっぽ、子育てボランティアさくら会 (3)障害者関係7団体 下鴨おもちゃの会、パセリクラブ、京都市手話学習会みみずく左京支部、要約筆記サークルかたつむり左京支部、たかのおもちゃライブラリー、あたたかいハート、ぼちぼちの会(失語症の会) (4)その他3団体 救援ボランティア左SRV、断酒平安会左京支部、まちの縁側ぽかぽか茶屋、 【主な議題】 (1)令和7年度連絡会の代表・副代表の紹介 (2)共同募金配分事業によるボランティアグループ活動助成金について (3)新規加入団体につて (4)新事業「ほっとふらっとさきょう」について (5)情報交換
--	---



『思いを聴く講座』登壇者
ぼちぼちの会(失語症の会)の皆さん

1. 活動振興・援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】 498件 【延べ利用人数】 3518人(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】 1041件(うち、印刷機器 945件、車いす 56件、その他機材 40件) 【貸出し物品】(車椅子、ビデオプロジェクター、レクリエーション器具 他)	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】 83団体 1547名 【行事保険】 224件 5652名	
	活動への助言、指導、支援など	
	・民間助成の周知および推薦 子どもの居場所助成(12団体) ・講師 中京区医師会、中京区はぐみネットワーク、中京区要保護児童対策地域協議会代表者会議及び中京区子育て支援連絡会議、実践から学ぶインクルーシブボランティア ー研究と対話の集い2026ー ・インターンシップ受入 京都市立西京高等学校附属中学校2年生	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】べんがらごうし 49号 【回数】年1回発行(9月) 【内容】◆正副会長 就任の挨拶 ◆中京区ボランティアフェス 実施報告 ◆中京区地域福祉活動計画第五次プラン策定について ◆中京区ボランティアセンターの紹介 など 【発行部数】 36, 500部	
	【広報紙名】中京区社協たより 【回数】年4回発行(春・夏・秋・冬) ◆職員紹介 ◆イベント告知・活動報告 ◆区社協カフェReport ◆教養ガーデン通信 ◆ゆいちゃん! ボランティアのこと教えて など 【発行部数】40部	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】 中京区ボランティアグループ連絡会「中京ゆい」パンフレット、中京区ボランティアフェスチラシ、手話講座ポスター、いばしょクリスマス会チラシ・ポスター、であいひろばチラシ・ポスター、親子防災クエストチラシ	
	インターネットによる情報発信	
3. 災害対策のための環境整備事業	【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】実施したイベントの動画撮影・編集を行った。 団体HPでの情報発信を40回、団体Instagramでの発信を61回行った。	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	—	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1) 令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
	(2) こども防災クエスト～防災リーダーになるミッションをクリアしよう～ 【日時】令和8年1月24日(土)13:30～16:00 【参加人数】 66名(うち大人28名 子ども38名) スタッフ参加53名 見学8名 【主な内容】防災に関する講義、ワークショップ	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	●区災害ボランティアセンター設置・運営訓練に向けた打ち合わせ 【日時】令和7年8月14日(木)13:30～15:00 【場所】中京区社会福祉協議会 【参加者層・数】 区役所地域力推進室総務・防災担当、区社協 5名	

	【内容】 (1)マニュアルを基にした災害時を想定した情報共有 (2)ボランティアセンター設置運営訓練の企画立案 (3)意見交換 ●区災害ボランティアセンター設置・運営訓練(実地検証) 【日時】令和7年10月10日(金)14:30～16:00 【場所】 佛教大学 二条キャンパス 【参加者層・数】 市災害VC、中京区役所、佛教大学、中京区社協 12名 【内容】 (1)設置・運営に関わる各機関の役割や機能の確認と協議 (2)現地視察 (3)レイアウトと周辺資源の確認
4. その他／1 相談・コーディネート事業	実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応 相談対応内容 【件数】298件 【内訳】<Vしたい>41件(内、マッチング41件)、<Vしてほしい>29件(内、マッチング29件)、<その他>228件 【主な相談内容】 ・高齢の方や障害のある方のどこか通える場がないか、Vしたいといった相談 ・子ども食堂、地域の居場所の立ち上げ相談 など コーディネートを伴う事業 — ボランティアの把握 合計1,547名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究 4. その他／2	調査・研究活動 —
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 【取組名】教養ガーデン 【日時】令和7年4月～令和8年3月 【対象】中京区民 【実施施設】 元教養小学校 【参加者数】 延べ 259名 【内容】毎週火・水曜 お世話日、毎月第三水曜 定例会(土づくり、ものづくり等) (2) 【取組名】区社協カフェ 【日時】毎月1回第一木曜日 【参加者数】12回実施、延べ216名 【内容】毎月1回誰が来てもいい居場所を実施 (3) 【講座名】中京区ボランティアフェス 【日時】令和7年6月9日(月)10:00～13:00【対象】 中京区民、ボランティアをしている人、ボランティアに関心のある人 【実施施設】 中京区役所 【参加者数】約220名 【内容】ドックセラピー、食品・雑貨の販売、よみきかせ、みんなでダンス、ものづくり、展示 等 【主催】中京区ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」 【共催】中京区ボランティアセンター、中京区役所 (4) 【取組名】子どもの居場所情報交換会 【日時】令和7年7月8日(火)、8月25日(月)、12月7日(日)、令和8年3月8日(日) 【実施施設】リブラン京都LUXE、更生保護施設盟親、佛教大学、元教養小学校 【開催回数】4回 【参加者数】延べ 687 名 【内容】子どもの居場所交流会、子どもの居場所団体の交流および情報交換、いばしょクリスマス会、であいひろば 啓発 【協力団体】子どもの居場所実行委員会、京都洛陽ライオンズクラブ、エースホテル など (5) 【講座名】はじめての手話教室 【日時】令和7年7月19日(土)、7月26日(土)、8月2日(土) いずれも10:00～12:00【対象】 中京区民、中京区に通勤、通学する人 【実施施設】 元教養小学校 【開催回数】3回 【参加者数】21名【内容】手話を学ぶ

4. その他／4 活動者相互の交流の促進	【協力団体】聴覚障害者協会中京支部、手話サークルみみずく中京支部昼の部、夜の部 (6) 【講座名】誰もがくらしやすい洛中のまち 【日時】令和7年8月28日(木)・9月5日(金)・9月16日(火) 【対象】 洛中小学校 3年生 【実施施設】 洛中小学校 【開催回数】 3回 【参加者数】 24名 【内容】ゲストティーチャー(視覚、聴覚、肢体)の話を聞く、要約筆記、手話学習、盲導犬学習、車いす体験を行う。 【協力団体】中京区身体障害者団体連合会、京都市身体障害者団体連合会、京都福祉レクリエーション協会 (7) 【取組名】なんでもてんらんかい 【日時】令和7年9月～令和8年3月 【対象】中京区民 【実施施設】 元教業小学校、中京区役所 【参加者数】 4回実施、延べ 262名 【出展者】 21名 【内容】区社協カフェ、区役所、区民集会、であいひろばにて「なんでもてんらんかい」を実施。好きなことやお気に入りの展示し、それを見た方がコメントを書き、出展者に返す。 (8) 【講座名】朱六やさしいまち 【日時】令和7年10月20日(月)・12月2日(火)・1月27日(火) 【対象】朱六小学校 5年生 【実施施設】朱六小学校 【開催回数】3回 【参加者】33名 【内容】高齢者疑似体験、自分たちが高齢者にできること(企画提案)、企画実施「朱桜ハッピーデー」 (9) 【講座名】やさしいつばい 朱一の町 【日時】令和7年11月4日(火) 【対象】 朱一小学校 4年生 【実施施設】 朱一小学校 【開催回数】1回 【参加者数】99名 【内容】高齢者疑似体験、ロービジョンメガネ体験、スクエアボッチャ、手話学習 【協力団体】中京区身体障害者団体連合会、視覚障害者支援グループらく、朱一学区民生児童委員協会 (10) 【講座名】防災ボランティア講座(学生向け) 【日時】令和7年12月10日(水) 【対象】佛教大学生 【参加者】160名 【内容】防災に関する基礎知識、ふろしき防災 (11) 【講座名】防災ボランティア講座(地域向け) 【日時】令和7年12月19日(金) 【対象】中京区民 【参加者】16名 【内容】防災に関する基礎知識、実技 (12) 【講座名】京都生協 くらしの助け合いの会 研修 【日時】令和8年2月3日(火) 【対象】くらしの助け合いの会 会員、関心のある方 【参加者】22名 【内容】合理的配慮について学ぶ、聴覚障害について 寸劇・お話、ロービジョン体験 【主催】京都生協 くらしの助け合いの会 【協力】中京区ボランティアセンター (13) 【取組名】カンガルーハウス 福祉教育 【日時】令和8年3月23日(月) 【対象】カンガルーハウスに通う不登校児 【参加者】4名 【内容】車いす体験(まちあるき)、ゲストスピーカーによるお話 【協力】中京区ボランティアセンター、中京区身体障害者団体連合会
	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】 中京区ボランティアセンター運営委員会 (令和7年10月17日(金)、令和8年2月26日(木)) 【開催回数】 2回 【構成団体数】 16団体 【構成団体名】 区社協(1)学区社協(2)民協(1)ボランティアNPO(2)当事者(2)施設(4)学識(1)学校(2)行政(1) 【議事内容】 第一回 区ボランティアセンター運営委員会 (1)委員長、副委員長選任 (2)令和7年度上半期 中京区ボランティアセンター事業報告 ①中京区ボランティアフェス ②参加支援事業 (3)令和7年度下半期 中京区ボランティアセンター事業計画 ①親子防災ワークショップ「子ども防災クエスト」 ②子どもの居場所事業 (4)ワーク「わ」になるワークショップ 第二回 区ボランティアセンター運営委員会 (1) 令和7年度下半期中京区ボランティアセンター事業報告 ①ボランティア養成について ②子ども防災クエスト (2) 令和7年度 中京区ボランティアセンター事業計画案について (3) グループワーク

ボランティアグループ連絡会	
【名称】ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」	【開催回数】例会6回、啓発2回、研修3回
【加入団体数】 11団体	
【加入団体名】中京区視覚障害者支援グループ らく、京都市手話学習会みみずく 中京支部、聴覚障害児プログラム研究会マイマイ、いきいき会、障害児学童 じゃりんこ、ふれあいまほう『どうぞ』、京都生協 とんからりin二条、認定NPO法人アンビシャス、中京・花とみどりの会、せいきょう ぐらしの助け合いの会、発達凹凸っ子の保護者交流会 ポレポレ	
【主な議題】(1)情報交換 (2)啓発活動について、(3)スキルアップ研修について	



こども防災クエスト

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】179件 【延べ利用人数】3,636人(※VGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】838件(うち、印刷機器 212件、その他機材 626 件) 【貸出し物品】(車椅子、プロジェクター、OHC等)	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】57団体 423名 【行事保険】51件 1,852名	
	活動への助言、指導、支援など (1) 視覚障害者支援グループ「スキップ」に対する活動への助言・協働・連絡調整等の支援 (2) 「ガーデンdeひがしやま」活動(高齢者の仲間づくり・健康づくり活動)への支援	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行	
	【広報物・報告書など】ひがしやまpetit(5月、8月、12月) 【発行部数】5月:600部発行 8月、12月:400部発行	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	—	
3. 災害対策のための環境整備事業	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】Instagram31回アップし、事業の告知及び報告を情報発信	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	東山区総合防災訓練 【日時】令和7年10月19日(日)9:00~12:00 【場所】永久に茂らん交流館 【参加者層・数】住民、区役所、消防、企業、学校等 46名 【内容】新道学区民を対象に災害ボランティアセンターの役割について周知を図る	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1) 令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30~16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和7年12月16日(火)10:00~11:20 【場所】東山区役所北館地下1階 【参加者】東山区役所、東山区社会福祉協議会 計4名 【内容】事前シミュレーションより作成したレイアウト図を基に、設置スペースや導線、受け入れ規模、配置の確認を行い、ボランティア受け入れシミュレーションの実施および資機材の確認を行う。	
	実施体制	
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月~金 9:00~17:00 土日、祝日、時間外はFAX・Eメールによる対応	
4. その他／1 相談コーディネート事業	相談対応内容	
	【件数】102件 【内訳】<Vしたい>16件(内、マッチング11件)、<Vしてほしい>9件(内、マッチング4件)、<その他>77件 【主な相談内容】 ・車椅子の貸し出しについて ・ボランティアに来てほしい、ボランティアをしたい ・ボランティア保険について ・備品の貸し出しについて 等	
	コーディネートを伴う事業	

調査及び研究	4. その他／2	【事業名】視覚障害者支援グループ「スキップ」への支援 【開催日時】 毎月第2火曜日 【延べ人員】 10名 【主な内容】 視覚に障害がある方のささいな困りごとの支援 【主なコーディネート内容】 運営・企画行事等への助言・調整、事務的な補助 ボランティアの把握 合計 423名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員（評議員、VGメンバー含む）、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等（子育てサークル、親の会、NPOなど）を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。（具体例；育成会、身障連、老人クラブなど）
	4. その他／2	調査・研究活動 —
	4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】 こころの健康を考える講座～知ることから始めよう～（東山区こころのふれあいネットワーク、東山区役所保健福祉センターと共催） 【日時】 令和7年11月5日（水） 14:00～15:30 【開催回数】 1回 【参加者】 10名 【内容】 不登校・ひきこもり当事者のご家族の経験や思いを理解する 【ボランティアに繋がった人数】 0名 (2) 【事業名】聴こえの講座（京都市中途失聴・難聴者協会東山支部、京都市要約筆記サークル「かたつむり」、手話サロンと共催） 【日時】 令和8年2月21日（土） 9:30～13:00 【開催回数】 1回 【参加者】 9名 【内容】 聴こえの課題について要約筆記・手話体験と団体との交流を通じて学び、地域でのボランティア活動に興味を持ってもらう 【ボランティアに繋がった人数】 2名 (3) 【講座名】 開晴小学校における福祉教育 【日時】 令和7年10月8日（水） 13:30～14:15、令和7年10月9日（木） 10:00～10:45、13:30～14:15 【開催回数】 3回 【参加者】 延べ96名 【内容】 東山区社会福祉協議会の役割について 【ボランティアに繋がった人数】 0名 (4) 【講座名】 認知症サポーター養成講座（東山区認知症ネットワーク） 【日時】 令和7年11月17日（月） 8:50～10:40 【開催回数】 1回 【参加者】 35名（日吉ヶ丘高校） 【内容】 認知症の基礎理解、サポーターの役割について 【ボランティアに繋がった人数】 0名 (5) 【講座名】 京都華頂大学地域福祉論（地域におけるソーシャルワーカーの役割について） 【日時】 令和7年8月27日（水） 16:20～17:40 【開催回数】 1回 【参加者】 30名 【内容】 社会福祉協議会と地域連携について 【ボランティアに繋がった人数】 0名 (6) 【講座名】 京都女子大学地域連携講座B 2（社会福祉協議会と地域の福祉活動） 【日時】 令和7年7月14日（月） 10:35～12:05 【開催回数】 1回 【参加者】 37名

4. その他／4 活動者相互の交流の促進	【内容】社会福祉協議会と東山区の地域福祉活動について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (7) 【事業名】京都女子大学社会調査実習Ⅰ（社会福祉協議会と地域の福祉活動） 【日時】令和7年7月14日(月) 13:00～14:30 【開催回数】1回 【参加者】40名 【内容】社会福祉協議会と東山区の地域福祉活動について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (8) 【事業名】「あなたの得意！を地域で活かしてみませんか？」（東山区地域支え合い活動入門講座との共催） 【日時】令和7年6月26日(木) 10:00～11:30 【開催回数】1回 【参加者】14名 【内容】高齢者を対象とするボランティアの基礎知識の普及 【ボランティアにつながった人】2名 (9) 【事業名】スマイルコンサート 【日時】令和7年10月9日(木) 10:30～11:30 【開催回数】1回 【参加者】しんかくじこども園、善立寺保育園の園児、なづな学園、東山総合支援学校、及び保護者、地域住民、他 多数 【内容】園児によるミニコンサートの披露、音楽を通じた交流 【ボランティアにつながった人】0名
	区ボランティアセンター運営委員会
	【名称】東山区ボランティアセンター運営委員会 【開催回数】1回 【構成団体数】12団体 【構成団体名】東山区社会福祉協議会、修道学区社会福祉協議会、東山区民生児童委員会、京都手をつなぐ育成会東部支部、東山青少年活動センター、市立東山総合支援学校、NPO法人助けあいグループりぼん、視覚障害者支援ボランティア「スキップ」、京都生協東ブロック事務局、華頂短期大学准教授(学識経験者)、東山老人デイサービスセンター、NPO法人音の風 【議事内容】(1) 令和6年度事業報告 (2) 令和7年度事業計画について (3) 第5期地域福祉活動計画について報告
	ボランティアグループ連絡会
	—



東山区災害ボランティアセンター設置運営訓練

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有・共有	
	【貸出し件数】116件	
	【延べ利用人数】348人(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】209件(うち、印刷機器 52件、その他機材157件)	
	【貸出し物品】(車椅子、アイマスク、プロジェクター、スクリーン、マイクセット、点字器、略字表他)	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】137団体 2,260名	
	【行事保険】103件 8,727名	
	活動への助言、指導、支援など	
	(1)山科ボランティアグループ連絡会所属団体の活動状況の確認・助言	
	(2)山科身体障害者福祉会館・聴覚障害者協会山科支部・手話学習会みみずく山科支部と共催の手話講座の開催	
	(3)山科身体障害者福祉会館と共催・身体障害者・聴覚障害者関係団体2団体と協力した要約筆記ボランティア入門講座の開催	
3. 災害対策のための環境整備事業	(4)知的障害者施設等の9施設・団体との協力のもとに「ボランティア講座～知的障がいのある人とともに～」の開催	
	(5)山科身体障害者福祉会館と共催・視覚障害者関係団体3団体の協力の元に視覚障害者ボランティア入門講座の開催	
	(6)次亜塩素酸水の提供	
	(7)ボランティア活動支援助成の交付	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】山科ボランティアセンターだより(区社協機関誌含む)	
	【回数】年 2回発行(9月、3月)	
	【発行部数】76,000部(区内全戸・関係機関配布)	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】各種入門講座チラシ	
	【発行部数】各チラシ5,000部(区内回覧、関係機関配布)	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】あり	
	【その他】	
	(1)区社協ホームページ	
	(2)市福祉ボランティアセンターホームページ	
	(3)京・福祉の情報ネット	
	(4)山科区公式LINEによる発信	
	(5)ボランティア募集サイト「activo」への掲載	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	(1)山科区防災会議への参画	
	【日時】令和7年6月5日(木) 14:00～16:00 【場所】山科区役所 【参加者層・数】警察署、土木事務所、区役所 等 40名	
	【主な内容】	
	ア. 令和6年度に発生した主な災害について	
	イ. 令和7年度災害危険個所の現状及び危険度の審議結果について	
	ウ. その他防災に係る情報共有について	
	(2)地域での啓発活動	
	ア. 鏡山学区福祉のつどい	
	【日時】令和7年10月25日(土) 10:00～12:00 【場所】鏡山小学校 【参加者層・数】鏡山学区民等 120名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、チラシ配架のブース、ARフォト設置	
	イ. 鏡山学区防災訓練	
	【日時】令和7年10月26日(日) 10:00～12:00 【場所】鏡山小学校 【参加者層・数】鏡山学区民等 90名	
	【主な内容】災害ボランティアセンター活動紹介パネル展示、チラシ配架のブース設置	
	ウ. 音羽川学区防災訓練	
	【日時】令和7年11月9日(日) 10:00～12:00 【場所】音羽小学校 【参加者層・数】山科区民等 90名	
	【主な内容】防災体験ブースの一つとして車いす体験を実施	
	エ. 山科区防災フェア(山科区総合防災訓練)	
	【日時】令和7年11月23日(日) 10:00～15:00 【場所】山科中央公園 【参加者層・数】ボランティア、山科区民 等 100名	
	【内容】区民まつりと同時開催された山科区防災フェアにて、災害ボランティアセンター活動紹介パネルの展示、チラシの配架ブースを設置、花壇プロジェクト紹介のパネルの展示、ARフォト設置	

4. その他／1 相談コーディネート事業	災害時の要配慮者支援研修・訓練 (1) 令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備 (1) 山科区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和8年2月6日(金) 9:15～12:00 【場所】山科総合福祉会館 【参加者層・数】山科区社協正職員4名、山科区役所防災担当職員2名、山科区役所健康長寿推進課1名、山科青少年活動センター1名 【内容】山科区社会福祉協議会と山科区役所と設置候補地である山科青少年活動センターで災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームと意見交換等を行った。
	実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談: 月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容 【件数】467件 【内訳】<Vしたい>38件(内、マッチング38件)、<Vしてほしい>27件(内、マッチング27件)、<その他>402件 【主な相談内容】 (1) 地域活動でのボランティア活動調整 (2) ボランティアしたい人へのボランティア団体・取組の紹介・見学同行 (3) ボランティアしてほしい人へのボランティア団体の紹介(学区社協ボランティアセンターによるちよいボラへのつなぎ等) (4) ボランティア団体への助成金の紹介 (5) 知恵シルバーセンターを活用したコーディネート 19件 コーディネートを伴う事業 — ボランティアの把握 合計 2,260名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例: 育成会、身障連、老人クラブなど)
及び研究	4. その他／2 調査 調査・研究活動 —
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】視覚障害者ボランティア入門講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】15:00～17:30 第1回: 令和7年7月5日(土)、第2回: 令和7年7月12日(土) 【開催回数】2回連続講座 【参加者】 延べ14名(第1回: 7名 第2回: 7名) 【内容】視覚障害者に関する基礎知識、ロービジョン、手引き歩行体験、点字学習等 【ボランティアに繋がった人数】不明 (2) 【講座名】やましなふれあい手話講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】 昼の部 13:30～15:00 : 令和8年1月14日、21日、28日、2月4日、18日 いずれも水曜日 夜の部 19:00～20:30 : 令和8年1月15日、22日、29日、2月5日、12日 いずれも木曜日 【開催回数】 昼の部・夜の部 各5回ずつの連続講座 【参加者】 昼の部: 延べ44名(1回9名、2回9名、3回9名、4回9名、5回8名) 夜の部: 延べ41名(1回10名、2回10名、3回10名、4回10名、5回11名) 【内容】 講座・講演・交流 【ボランティアに繋がった人数】 3人 (3) 【講座名】 やましな要約筆記(文字通訳)ボランティア入門講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】 令和8年2月14日(土) 13:30～16:30 【開催回数】 1回 【参加者】 31人 【内容】

4. その他／4 活動者相互の交流の促進	ア. 講義「要約筆記の概要・聴覚障害者に関する基礎知識」 イ. 講義&実技「三原則(速く・正しく・読みやすく)・ロール実習」 ウ. 講義&実技「筆談・ノートテイク実習」 エ. 講義&実技「パソコン」 オ. 要約筆記サークル「かたつむり」&「京都市要約筆記養成講座」紹介 【ボランティアに繋がった人数】 不明 (4)【講座名】 ボランティア講座～知的障がいのある人とともに 【日時】 令和7年10月11日(土) 10:00～12:00 【開催回数】 1回 【参加者】 11名 【内容】 ア. ボランティア活動とは?～障がいのある方の社会進出に目を向けて～ イ. 知的障がいのある人への関わりについて ウ. 施設・団体紹介 エ. 施設・団体ごとの紹介ブース 【ボランティアに繋がった人数】 不明 (5)【講座名】福祉教育の取組推進 【日時】 令和7年5月1日(木)、10月27日(月)、12月4日(木)、12月5日(金)、12月12日(金)、令和8年1月20日(火) 【開催回数】 5回 【参加者】 延べ1, 204名(1回10名、2回800名、3回100名、4回50名、5回186名、6回58名) 【内容】 ア. 車いす体験について 5回 イ. 視覚障害について 1回 (6)【講座名】山科区地域支え合い活動入門講座(独自型) ※山科区地域支え合い活動創出コーディネーター・山科区社会福祉協議会と共催 【日時】令和7年10月22日(水)10:00～12:30 【開催回数】 1回 【参加者】 7名 【内容】 ア. 花壇プロジェクトのご紹介 イ. トーキングサークル ウ. 苗植え体験・おれんじロードづくり エ. フリースペースで休憩&今後のお知らせ 【ボランティア繋がった人数】 5名
	区ボランティアセンター運営委員会 【名称】 山科ボランティアセンター運営委員会 【開催回数】1回※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会 合同会議として開催 【構成団体数】8団体 【構成団体名】学区社会福祉協議会、山科身体障害者福祉会館、山科区老人クラブ連合会、山科区地域女性連合会、京都橘大学、手をつなぐ育成会山科支部、山科ボランティアグループ連絡会、中学校校長会山科・醍醐支部(9名) 【議事内容】 (1)令和7年度山科区ボランティアセンター事業について (2)ボランティア活動支援助成について (3)活動交流・意見交換
	ボランティアグループ連絡会 【名称】山科ボランティアグループ連絡会 【開催回数】1回※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会 合同会議として開催 【加入団体数】9団体 【加入団体名】山科タンタンおもちゃライブラリー／沢ネット／京都市要約筆記サークルかたつむり／京都生協暮らしの助け合いの会／NPO法人山科醍醐こどものひろば／あそび隊／京都市手話学習会みみずく山科支部／京都山科センター合唱団／チャイルドライン京都 【参画グループとの協働活動】 (1)山科タンタンおもちゃライブラリー:「あそびの広場実行委員会」への参画協働 (2)京都市要約筆記サークルかたつむり:「やましな要約筆記ボランティア入門講座」の実施協力 (3)NPO法人山科醍醐こどものひろば:「フリースペース」の実施協力 (4)京都市手話学習会みみずく山科支部:「やましなふれあい手話講座」の実施協力



やましなふれあい手話講座

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有・共有	
	【貸出し件数】 140件	
	【延べ利用人数】 1,610人(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】 441件(うち、印刷機器 389 件、その他機材 52件)	
	【貸出し物品】(車椅子、オンライン機材、マイク・スピーカー、プロジェクター等)	
	ボランティア保険の加入促進	
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】 70団体 901名	
	【行事保険】 96件 6908名	
	活動への助言、指導、支援など	
	(1)ボランティアタンポポの育成支援 タンポポ総会並びに世話人会の開催支援、下京老人デイサービスセンター、下京老人福祉センターでの定期的な活動支援、会報「わたぼうし通信」発行支援 下京総合福祉センター1階花壇および屋上ガーデンでの活動支援等	
	ボランティア広報紙の発行	
	【広報紙名】下京区社協だより「シモギョーミーツ」	
	【回数】年1回発行(3月)	
	【発行部数】21,000部	
3. 災害対策のための環境整備事業	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】(ボランティアセンター紹介チラシ、ボランティアグループ連絡会紹介チラシ、ユース報告書など)	
	【発行部数】	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】あり	
	【その他】本会HP、団体情報サーチシステムでの情報発信を随時行った	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	—	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
	(2)インクルーゲンボール窯でピザを作ろう！～ 【日時】令和8年1月23日(金)13:30～15:30 【参加者層・数】12名 【主な内容】 災害時に活用できるダンボールピザ窯を活用して、食を通じて防災意識を高めた。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	(1)令和7年度下京区防災フェスへの参画 【日時】令和7年12月7日(日)10:00～12:00 【場所】北総合支援学校中央分校 【参加者層・数】200名 各学区の自主防災会、下京区民等 【内容】地域で行われている楽しく学ぶ防災の取組展示 災ボラパネルの展示、障害を持つ方の災害時の相談コーナー(区身連共催)	
	(2)下京区災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催 【日時】令和7年9月25日(木)、令和8年1月22日(木)14:00～15:15 【場所】京都産業大学むすびわざ館1階会議室 【参加者層・数】7名 下京区役所地域力推進室、京都産業大学 【内容】区役所、設置候補地、区社協の三者による現地検証 ①災害ボランティアセンターの役割、機能、立ち上げの流れについて確認 ②マニュアルや協定内容確認及び変更協議	

4. その他／1 相談コーディネート事業	実施体制	
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】 171件 【内訳】<Vしたい>7件(内、マッチング4件)、<Vしてほしい>7件(内、マッチング4件)、<その他>157件 【主な相談内容】 ・犬を散歩してくれるボランティアを探している ・絵を教えるボランティアをしたい ・調理ボランティアとして活動したい	
	コーディネートに伴う事業	
4. その他／2 調査及び研究	【事業名】福祉理容サービス事業 【件数】 0件 【備考】理容協力店 6店 【主なコーディネート内容】利用希望者の状況把握、参画理髪店のとりまとめ等 【事業名】車いす貸出事業 【件数】45件	
	ボランティアの把握	
	合計 741名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉委員、区のVG連絡会メンバー、ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、人形劇サークルさんりんしゃ、下京おこしやすの会、かみふうせん文庫、伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、子育てサークルプチきりん(R6、3月休止)、親子交流サークル下京こあらの会(R1、10～休会)、手話サークルつぼみの会、京都市手話学習会みみずく下京支部、有隣ワンダークラブ	
	調査・研究活動	
	—	
4. その他／3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催	
	(1)【講座名】地域支え合い活動入門講座(標準型) 【日時】令和8年2月9日(月) 13:30～15:30 【開催回数】 1回 【参加者】 延べ 9名 【内容】・講義 ・活動紹介(シルバースカイ) ・活動体験(モルック&NintendoSwitchSports) 【ボランティア繋がった人数】 4名	
	(2)【講座名】地域支え合い活動入門講座(独自型) 【日時】①令和7年6月10日(火) 13:30～15:30 ②令和7年10月14日(火) 13:30～15:15 【開催回数】 2回 【参加者】 延べ 26名(各回の参加者数 ①11名 ②15名) 【内容】①役割を発揮できる居場所づくり講座「～得意を役割に変えるコツ～自分はどこかな?」 ②ポッチャde地域活動デビュー講座 【ボランティア繋がった人数】 ①1名 ②4名	
	区ボランティアセンター運営委員会	
	【名称】理事会 【構成団体数】14団体 【構成団体名】学区社協 民生児童委員会 共同募金会 社会福祉施設 社会福祉事業団体 社会福祉関係団体 関係公務員 学識経験者 【議事内容】 第IV期地域福祉活動計画について、区VC事業について、地域支え合い活動創出事業について	【開催回数】 3回
4. その他／4 活動者相互の交流の促進	ボランティアグループ連絡会	
	【名称】下京区ボランティアグループ・サークル連絡会 【加入団体数】 10団体 【加入団体名】ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、下京おこしやすの会、かみふうせん、伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、人形劇サークルさんりんしゃ、手話サークルつぼみの会、京都市手話学習会みみずく下京支部、有隣ワンダークラブ	



ボランティアグループ「ボランティアタンポポ」の活動

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】188件 【延べ利用人数】2,869人(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】237件(うち、印刷機器 69件、その他機材 168件) 【貸出し物品】(車椅子、ビデオデッキ、プロジェクター、ラジカセ、アイマスク、白杖、スクリーン、マイクセット、スピーカー、印刷機、紙折り機)	
	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】71団体 795名 【行事保険】84件 6,174名	
	活動への助言、指導、支援など	・民間助成の周知および推薦 (3団体) ・子ども食堂の立ち上げ及び運営支援、団体間のネットワーク化 ・ボランティアグループの運営支援・啓発活動(広報協力等)およびボランティア活動に関する助言
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行	
	(1)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」のボランティア募集 子育てサポートMa. Moonの募集 【広報物・報告書など】区社協広報誌「南区社協通信」の発行(年1回)、ホームページに掲載(月1回)、チラシ作成(年1回)、	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	【広報物・報告書など】南区子どもの居場所ガイド 【発行部数】1,500部	
	インターネットによる情報発信	
	【ホームページ・SNSの開設】あり(随時更新) instagramでの情報発信(随時更新)、YouTubeチャンネルでの情報発信(随時更新)、地域活動紹介、区社協活動報告、子育て支援ルーム「すくすくみなみ」およびコミュニティサロンみなみの活動報告、南区内の子どもの居場所紹介(随時更新)	
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク	
	—	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
	区災害ボランティアセンターの環境整備	
	(1)南区災害ボランティアセンター設置・運営に関する懇談会 【日時】令和7年8月26日(火)11:00～12:00 【場所】南区社協会議室 【参加者層・数】8名(南区役所地域力推進室、南区社協) 【内容】前年度に開催した設置運営訓練を踏まえ、レイアウトの修正箇所の確認及び情報共有(令和6年度災害VC訓練以降の動向等)、令和7年度の訓練について意見交換を行う。	
	(2)南区災害ボランティアセンターの設置・運営訓練 【日時】令和8年3月6日(金)10:00～12:00 【場所】南区社協会議室 【参加者層・数】8名(南区役所地域力推進室、京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室、市社協ボランティア支援部(市災ボラ担当)、南区社協) 【内容】区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティアの受け入れ対応についての流れを確認した。また、設置候補地にて現地確認・マニュアルを基に動線及び各班のレイアウト確認、事務用品(センター用資材)等の確認を行い、災害時に迅速に対応できるように、設置・運営のイメージを共有した。	
4. その他 ダイネット事業	実施体制	
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】187件 【内訳】<Vしたい>19件(内、マッチング11件)、<Vしてほしい>19件(内、マッチング19件)、<その他>149件	

調査及び研究	4. その他／2	【主な相談内容】 ・施設に入所される方の傾聴ボランティアの依頼。 ・多世代の方が利用する居場所でのボランティア相談。本人の経験や好きなことを活かして活動できる場所を希望。 ・開建高校の学生から、自分が考えた高齢者の方向けのゲームを実践してほしいという相談。
		コーディネートを伴う事業 【事業名】子育て支援ルーム「すくすくみなみ」 【件数】36件 【延べ人員】481名 【主なコーディネート内容】子育て支援ルームの利用者対応、ボランティア調整 等
		ボランティアの把握 合計 1,095名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
		調査・研究活動 —
4. その他／3	講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 1)南区ボランティア入門講座 【日時】令和8年3月7日(土)①10:00～11:00②11:10～12:00 【場所】就労継続支援B型事業所UTAU 【参加者】延べ11名(各回の参加者数;①5名②6名) 【内容】学生によるスマートフォンの機能やインターネット活用のサポート(高齢者対象) 【ボランティアに繋がった人数】3名 【協力】南青少年活動センター (2)福祉教育 【名称】唐橋小学校「車いす・アイマスク体験」 【日時】令和7年11月26日(水)13:35～15:00 【参加者層・数】3年生 86名 【協力】学区社協、学区民協、ボランティアグループ
		区ボランティアセンター運営委員会 【名称】理事会・評議員会 【開催回数】年2回(6月、3月) 【構成団体数】理事会(15団体)、評議員会(33団体) 【構成団体名】学区社協、学区民協、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、保育園園長、共同募金会、社会福祉関係行政機関等 【議事内容】事業概要も説明・共有、立案推進に関する件について、区・学区社協ボランティア活動に関する件について、各分野におけるネットワークづくりに関する件について ボランティアグループ連絡会 (1)【名称】子育てサロン運営団体交流会 【日時】令和8年1月30日(金)10:30～12:00 【参加団体数】6団体(弘道学区、南大内学区、唐橋学区、東和学区、吉祥院学区、祥豊学区) 【主な議題】①活動紹介 ②意見交換 (2)【名称】南区子育て支援ルーム「すくすくみなみ」運営団体交流会 【日時】令和8年3月13日(金)10:30～12:00 【参加団体数】2団体(子育てサポートMa. Moon、スマイル) 【主な議題】①ボランティア活動の基本について ②保育現場から見える昨今の保護者の傾向や対応について ③令和8年度の運営について ④情報交換・交流
4. その他／4	活動者相互の交流の促進	



南区ボランティア入門講座
「スマホ講座」

令和7年度 右京区ボランティアセンター事業 実施報告書

京都市右京区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有・共有
	【貸出し件数】 163件
	【延べ利用人数】 1,178人(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】 279件(うち、印刷機器 本部:20、京北:155件、その他機材 本部:97、京北:7件)
	【貸出し物品】(車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター)
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】 143団体 2,225名
	【行事保険】 375件 12,185名
	活動への助言、指導、支援など
	学区ボランティアスクールなどへの講師並びに講師紹介。ボランティア保険加入手続き支援等。
	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】「ウェルBOX右京2025」「京北事務所だより」
	【回数】年 13回発行(「ウェルBOX」-12月、「京北事務所だより」毎月)
	【発行部数】「ウェルBOX右京」59,000部、「京北事務所だより」2,200部/回
3. 災害対策のための環境整備事業	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】・右京区民ふれあい文化フェスティバル(10/26)の区社協ブースで、「右京区ボランティアグループ連絡会」の周知啓発、各団体のチラシ配架などを行った。区社協事務所配架コーナーで、市・区社協、学区社協、各種団体等の広報紙を配架。
	【発行部数】 各内容によって異なる。
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNSの開設】あり
	【その他】区社協HPで機材貸出情報発信、イベント情報などの収集、発信。
	人材育成、啓発、ネットワーク
	学区社協におけるボランティアスクール6学区で実施(西院第二、梅津、嵯峨、西京極、葛野、京北)
	【内容】学区社協重点活動プランの推進、フレイル予防や介護予防の取り組みなど
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練
	【日時】令和8年1月15日(木) 10:00~11:30
	【参加者層・数】京都市文化市民局地域自治推進室市民活動支援担当、京都市保健福祉局福祉のまちづくり推進室地域共生推進室、きょうとNPOセンター、京都市福祉ボランティアセンター、右京区役所地域力推進室 総務・防災、右京区役所京北出張所 総務・防災、右京区社会福祉協議会、右京区社会福祉協議会京北事務所 計16名
	【主な内容】経験共有・意見交換・現地視察
4. その他/1 相談・コーディネート事業	(1)令和7年度災害時要配慮者支援研修
	「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」
	※共催:京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター
	【日時】令和7年11月16日(日)13:30~16:30
	【参加者数】15名
	【内容】被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練 ※再掲
	(1)【日時】令和7年10月25日(土) 10:00~15:00
	【参加者層・数】 右京区社会福祉協議会職員 6名
4. その他/1 相談・コーディネート事業	【主な内容】 右京区民ふれあいフェスティバルにて来場される方々へ向けて、災害ボランティアセンターの機能や役割、災害時の対応について啓発のため、災害に関するクイズやパネル展示、災害グッズの配布を実施。
	(2)【日時】令和8年3月6日(水) 11:00~12:00
	【参加者層・数】右京区役所京北出張所、右京区役所地域力推進室、右京区社会福祉協議会 計6名
	【主な内容】 初動体制とレイアウトについて
	実施体制
4. その他/1 相談・コーディネート事業	【実施体制】職員3名体制で実施
	【開設日】窓口・電話相談:月~金 9:00~17:00 土日、祝日、時間外はFAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
	【件数】 926件
4. その他/1 相談・コーディネート事業	【内訳】<Vしたい>37件(内、マッチング37件)、<Vしてほしい>42件(内、マッチング42件)、その他847件

調査及び研究	4. その他／2	【主な相談内容】 ・ボランティアしたい、参加したい、ボランティアを求める ・寄贈、寄付相談。
		コーディネートに伴う事業 【事業名】 外出支援サービス事業(福祉有償運送事業、サロン送迎、お買い物支援) 【件数】 1,305 件 【延べ人員】 2,133 名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、運転ボランティアの調整 【声の広報コスモスグループ】 【件数】 34人 【延べ人員】 37名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整 【給食ボランティアグループ】 【件数】 1,673食 【延べ人員】 267名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整、活動(材料費)お支払い等 【サロンボランティア】 【件数】 192回 【延べ人員】 717名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、サロンボランティア活動、サロン活動内容調整等 【対話ボランティア】 【件数】 124件 【延べ人員】 248名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、対話ボランティアの調整
	4. その他／3	ボランティアの把握 合計 2,416名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
		調査・研究活動 —
互いの交流の促進	4. その他／4	講座・研修等の開催 (1)地域支え合い活動入門講座(標準型)への協力 【講座名】支え合い活動を始めるための基礎知識【日時】令和7年5月30日(水)【開催回数】1回 【参加者】10名 【内容】「高齢者を取り巻く状況と支え合い活動の推進について」をテーマに講義を実施。 【ボランティア繋がった人数】6名 ※受講者がVG・施設等での活動につながった人数を記入 (2)地域支え合い活動入門講座／情報交換会 【講座名】「右京区で福祉のまちづくり活動をする人たちが集まり、つながるためのフェス～“うふふ”2025～」【日時】令和8年1月30日(金) 【開催回数】1回 【参加者】延べ114名(各回の参加者数) 【内容】「話題提供『うふふを通して新たな活動へ!』」「つながりの事始め～トークフォークダンス～」「ブースPRタイム」「みんなで交流タイム～つながりの巻～」の実施。 【ボランティア繋がった人数】15名 ※受講者がVG・施設等での活動につながった人数を記入 (3)要約筆記1日体験教室 【日時】令和7年2月14日(土) 13:30～15:30 【開催回数】1回 【参加者】14名 【内容】京都市中途失聴・難聴者協会右京支部、要約筆記サークルかたつむりとの共催により、要約筆記を体験する講座を開催。 【ボランティア繋がった人数】3名 ※受講者がVG・施設等での活動につながった人数を記入 (4)学区社協におけるボランティアスクール6学区で実施(西院第二、梅津、嵯峨、西京極、葛野、京北) 【内容】学区社協重点活動プランの推進、フレイル予防や介護予防の取り組みなど
		区ボランティアセンター運営委員会 【名称】理事会 【開催回数】3回 【構成団体数】17団体 【構成団体名】学区社会福祉協議会、区民生児童委員会、公私社会福祉施設、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、社会福祉関係行政団体 【議事内容】令和7年度事業計画並びに収支予算、令和6年度事業報告並びに収支決算

ボランティアグループ連絡会	
【名称】右京区ボランティアグループ連絡会	【開催回数】10 回(本部:2回 京北 8 回)
【加入団体数】 12団体	
【加入団体名】 嵐山寮ボランティアの会「ふれんど」・健光園ボランティアの会・いちごクラブ・右京区手話サークル連絡会・わたぼうし文庫・このはな文庫・もみじ文庫・たんぽぽ文庫・ひこばえ・ねんころり・まるちゃんスマホ、気ままおやじ会右京 京北:菜の花グループ、鳥居グループ、四つ葉グループ、上川給食ボランティア、下弓削グループ、周山①グループ、周山③グループ、周山④グループ、宇津しゃくなげグループ、宇津あじさいグループ、向日葵グループ、井戸グループ、つぐみ会グループ、ごもくめし、ゆみさかグループ、コーラスたんぽぽの会、舞踊「紅会」、黒田大正琴同好会、大正琴荒田グループ、コスモスグループ、宇津しあわせグループ、京北対話ボランティア、いはいまぐファイブA、運転ボランティア、サロンボランティア、マナビノ給食ボランティアグループ	
【主な議題】 令和6年度の議論の振り返りと及び今後の方向性について右京区ふれあい文化交流会へのブース出展について、うふふの参加についてなど 京北:コスモスボランティア交流会・対話ボランティア定期ミーティング・外出支援ボランティアサロンボランティア代表者合同交流会・給食ボランティア代表者会議交流会・調理グループ新規説明会・宇津しあわせグループ運営会議、ボランティアスクール(福祉有償運転者講習会、認知症の現場と対応)	



右京区ボランティアグループ連絡協議会による啓発活動
(右京区民ふれあい文化フェスティバル)

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	貸出し無し
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】337件(うち、印刷機器 212件、その他機材 125件) 【貸出し物品】(車椅子、スクリーン、液晶プロジェクター、マイクセット、スピーカー、三脚)
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】 124 団体 1,516名 【行事保険】 193 件 13,776名
	活動への助言、指導、支援など
	(1)子どもの居場所づくりの立ち上げ・運営支援 (2)助成申請、啓発事業の実施等、ボランティアグループの活動支援及び学びの場サポート
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】陽だまり通信 【回数】年1回発行(9月) 【発行部数】42,000部
	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】①陽だまり通信 ②居場所パネル ③活動紹介パネル 【発行部数】①42,000部 ②12枚 ③ 4枚
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】なし
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	—
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)令和7年度災害時要配慮者支援研修 「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」 ※共催：京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター 【日時】令和7年11月16日(日)13:30～16:30 【参加者数】15名 【内容】被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	【1】区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和8年1月20日(火) 13:30～16:00 【場所】西文化会館ウエスティ 【参加者層・数】学区社協役員、当事者団体 等 合計80名 【内容】区災害ボランティアセンターの開設・運営を実際の会場でシミュレーションを行った。
4. その他／1 相談コーディネート事業	実施体制
	【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
	【件数】 177 件 【内訳】<Vしたい>33 件(内、マッチング23件)、<Vしてほしい>18 件(内、マッチング17件)、<その他>126件 【主な相談内容】 ・子ども関係のボランティアがしたい(学習支援、子ども食堂等) ・イベント・行事への活動参加依頼 ・傾聴ボランティア 行きたい・きてほしい
	コーディネートを伴う事業
	【事業名】 知恵シルバーセンター事業【団体登録1件 依頼件数20件】
	ボランティアの把握
	合計 1,516名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、 その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている 当事者団体は除く。(具体例：育成会、身障連、老人クラブなど)

調査及び研究	4. その他／2	調査・研究活動	
		—	
4. その他／3	講座・研修等の開催	講座・研修等の開催	
		(1) 【講座名】ボランティア入門講座 【日時】①8月4日(月) ②8月6日(水) 14:00～16:00 ③10月17日(金) 18:30～20:00 ④10月29日(水) 13:00～16:00 ⑤11月9日(日) 10:30～12:00 ⑥2月27日(金) 18:30～20:30 【開催回数】 6 回 【参加者】 延べ 111 名 (各回の参加者数 ①15名 ②4名 ③27名 ④24名 ⑤14名 ⑥27名) 【内容】 ①②高齢者を取り巻く状況について、ボランティア活動をはめるための基礎知識、実際の活動について紹介(共催:地域支え合い活動創出事業) ③⑤⑥居場所の意義について(共催:地域支え合い活動創出事業・子どもの居場所「支援の輪」サポート事業) ④オレンジカフェについて(共催:地域支え合い活動創出事業) 【ボランティア繋がった人数】 2名 (2) 【講座名】情報交換会 【日時】①1月23日(金) 18:30～20:00 【開催回数】 1 回 【参加者】 延べ 21名 【内容】 子どもの居場所について 【ボランティア繋がった人数】 1 名	
4. その他／4	活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会	
		【名称】理事会 【構成団体数】17団体 【構成団体名】学区社会福祉協議会、区民生児童委員会、公私社会福祉施設、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、社会福祉関係行政機関 【議事内容】(※未設置の区は理事会等の報告) 令和7年度事業計画並びに収支予算、令和6年度事業報告並びに収支決算	【開催回数】 3 回
4. その他／4	活動者相互の交流の促進	ボランティアグループ連絡会	
		【名称】西京区ボランティアグループ連絡会 【加入団体数】 8 団体 【加入団体名】ジョイント西京視覚障害者支援ボランティア(障害者支援)、拡大写本るーぺ京都(障害者支援)、手話学習会みみずく西京支部(障害者支援)、洛西手話サークルたけのこ(障害者支援)、手話サークルサンシャイン(障害者支援)、なんじゃもんじゃ(地域福祉)、桂児童館ボランティア焼肉定食(子育て支援)、障害者ボランティアサークルプラネット(障害者支援) 【主な議題】各グループの情報共有、赤い羽根共同募金(街頭啓発・報告、決算)について、助成金情報の共有、啓発事業の企画等	【開催回数】 3 回



区災害ボランティアセンター設置運営訓練

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有・共有 伏見区社協72㎡ 醍醐分室20.16㎡
	【貸出し件数】 173件
	【延べ利用人数】 2,407人(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】 331件(うち、印刷機器 144件、その他機材 187件)
	【貸出し物品】(車椅子、ビデオプロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折り機)
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】 212団体 1,858名
	【行事保険】 394件 17,975名
	活動への助言、指導、支援など
	周知方法等の助言
	ボランティア広報紙の発行
	【広報紙名】 伏見の「わ」／ボランティアF
	【回数】 年4回発行(5月、8月、11月、3月)
	【発行部数】 2,000部(500部×4)
3. 災害対策のための環境整備事業	その他広報物、報告書類等の発行
	【広報物・報告書など】 伏見区ボランティアグループ連絡会・伏見区ボランティアセンター紹介パンフレット
	【発行部数】 100部発行
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNSの開設】(あり)なし 伏見区社協ホームページ ボランティア情報の発信、イベント、講座情報発信、広報誌掲載／YouTube チャンネル「伏見区社会福祉協議会」
	【その他】 市福祉ボランティアセンターHP にボランティア情報・イベント情報を掲載
	人材育成、啓発、ネットワーク
	災害時要配慮者支援研修の周知・広報
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	●区の防災訓練への参画
	(1) 伏見区総合防災訓練
	【日時】 令和7年12月14日(日) 10:00～12:00
	【参画内容】 区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティア受入れ対応について訓練、啓発ブースの運営
	【参加者層・数】 地域住民、関係組織・団体、区役所職員、京都中小企業家同友会伏見支部 計87名(設置運営訓練・啓発ブースに立ち寄った方)
	(2) 令和7年度災害時要配慮者支援研修
	「ボードゲームから学ぶ 一人ひとりの生活再建のための知識～罹災証明書から生活再建制度まで～」
※共催: 京都市福祉ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、各区ボランティアセンター	
【日時】 令和7年11月16日(日)13:30～16:30	
【参加者数】 15名	
【内容】 被災者の生活再建にかかわる各種制度等を「被災者再建カード」を使ったワークショップから学ぶ。	
区災害ボランティアセンターの環境整備	
●区災害ボランティアセンター設置運営訓練	
【日時】 令和7年12月14日(日) 10時～12時 【場所】 龍谷大学 成就館	
【参加者層・数】 京都中小企業家同友会伏見支部、株式会社三井田商事、龍谷大学生、啓発ブースに立ち寄った方 伏見区社協職員等 計87名	
【内容】 区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティア受入れ対応について訓練を行った	
●その他	
(1) 京都中小企業家同友会伏見支部との連携	
ア. 災害ボランティアセンター事業に関する打合せ 【開催回数】 10回	
イ. 勉強会 【開催回数】 2回	
4. その他 コーディネート事業・相談	実施体制
	【実施体制】 職員4名体制で実施
	【開設日】 窓口・電話相談: 月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
【件数】 325 件	
【内訳】 <Vしたい>19件(内、マッチング10件)、<Vしてほしい>7件(内、マッチング3件)、<その他>299件	

	【主な相談内容】 ・生活福祉資金の制度について ・賛助会員募集活動について ・ボランティア活動について ・すこやか学級等の地域活動への参加について 等 コーディネートに伴う事業 — ボランティアの把握 合計 2,283名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)	
調査及び研究	4. その他／2	調査・研究活動 —
	4. その他／3	講座・研修等の開催 (1) 【講座名】伏見区ボランティア講座【日時】《講座編》令和7年10月29日(水) 13:30～15:00《体験編》10月31日(金) 13:30～15:30、12月10日(水) 13:30～15:30 【開催回数】3回【参加者】延べ 21名(各回の参加者数 10/29:18名、10/31:1名、12/10:2名) 【内容】《講座編》・ボランティア活動とは?～ボランティア活動の基礎知識について～ ・人の心に寄り添う傾聴の世界～耳を傾け、心を聴く～ 講師:SKY 傾聴ボランティアサークル 田子 和代氏 《体験編》10/31要約筆記サークル かたつむり伏見 12/10花水木の会 【ボランティア繋がった人数】3名 (2) 【講座名】東稜高校 福祉教育【日時】令和7年5月28日(木) 13:30～15:20【開催回数】1回【参加者】37名 【内容】災害ボランティア活動とは 【その他】京都市災害ボランティアセンター事業に協力 (3) 【講座名】伏見住吉小学校【日時】令和7年6月16日(月) 10:45～12:20【開催回数】1回【参加者】51名(小学4年生) 【内容】車いす体験、認知症サポーター養成講座 (4) 【講座名】東稜高校 福祉教育【日時】令和7年6月20日(金) 10:55～12:45【開催回数】1回【参加者】40名 【内容】車いす体験 (5) 【講座名】神川小学校 福祉教育【日時】令和7年10月14日(火) 9:35～12:10【開催回数】1回【参加者】102名(小学4年生) 【内容】車いす体験 (6) 【講座名】伏見住吉小学校【日時】令和7年11月7日(金) 11:00～11:45、20日(木) 11:45～12:30【開催回数】2回【参加者】51名(小学4年生) 【内容】伏見住吉まなびの発表会 (7) 【講座名】神川小学校 福祉教育【日時】令和7年12月8日(月) 10:40～11:50【開催回数】1回【参加者】102名(小学4年生) 【内容】認知症サポーター養成講座 (8) 【講座名】納所小学校 福祉教育【日時】令和7年12月22日(月) 10:45～12:00【開催回数】1回【参加者】37名(小学4年生) 【内容】車いす体験、認知症サポーター養成講座 (9) 【講座名】京都聖母学院高校 福祉教育【日時】令和7年8月27日(水)、9月24日(水)、30日(火)、10月15日(水)、21日(火)、28日(火)、11月12日(水)、26日(水)【開催回数】8回【参加者】延べ 268名(火曜日は高校3年生35名、水曜日は高校2年生31名) 【内容】単発の福祉教育を高校2年生、3年生を対象に計9回実施

4. その他／4 活動者相互の交流の促進	(10) 【講座名】ユースアクション2025【日時】令和7年7月28日(月)、29日(火)、30日(水)、8月5日(火)、6日(水)、12日(火)、18日(月)、19日(火)、26日(火) 【開催回数】9回(うち3回はオリエンテーション) 参加者 延べ13名 【内容】受入団体(手話サークルともだち、ボランティアねこの手、京都市醍醐中央児童館、藤の木セカンドハウス、パン工房くーべ)でのボランティア活動
	区ボランティアセンター運営委員会
	【名称】ボランティア委員会 【開催回数】1回 【構成団体数】9団体 【構成団体名】伏見区地域女性連合会、住吉学区社会福祉協議会、伏見区老人クラブ連合会、伏見区ボランティアグループ連絡会、藤森学区社会福祉協議会、南浜学区社会福祉協議会、淀南学区社会福祉協議会、伏見児童館館長会、京都市伏見青少年活動センター 【議事内容】1)令和7年度 伏見区ボランティアセンター中間報告について 2)令和8年度の事業計画について
	ボランティアグループ連絡会
	【名称】伏見区ボランティアグループ連絡会 【開催回数】10回 【加入団体数】6団体 【加入団体名】ボランティアねこの手、手話サークルともだち、花水木の会、朗読ボランティアグループ 京都 YMCA こおろぎ、ぶどうの会、要約筆記サークルかたつむり伏見 【主な議題】報告事項、各部会報告、各グループ活動報告、令和7年度事業報告と決算報告、広報誌の発行について、交流会について、伏見区社協からの連絡事項等



令和7年度伏見区ボランティア講座

Ⅲ 参考資料



令和 7 年度発行 月刊紙「ボランティアーズ京都」

資料 1

京都市福祉ボランティアセンター実績数値(概況)



		摘要																	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R6実績
I 区ボランティアセンターとの連携・協働																																	
(1)連携調整および連携事業の企画・実施																																	
	① ボランティア・地域支援業務(区ボランティアセンター)担当者会議	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	6					
	② 総合相談事例検討ワーキング	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0					
(2)連携・協働による各種事業の企画・実施																																	
	① 各種事業の企画・実施	回	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	0					
II 情報収集・発信																																	
(1)インターネット等を活用した提供																																	
	① ホームページによる情報発信	件	10	14	25	17	42	22	36	27	38	26	26	20	303	406																	
	② メールマガジンの発行																																
	(助成金情報)登録(累計)	件	687	687	687	690	690	691	691	692	692	693	693	694	694	688																	
	(助成金情報)発行回数	回	19	16	11	17	15	16	13	5	6	5	4	6	133	145																	
	③ SNSによる情報発信	件	7	5	6	5	5	6	7	5	5	6	5	6	68	73																	
	④ 団体・活動情報サーチシステムの管理運営																																
	団体情報検索システム登録団体数(累計)	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	191																	
	ボラセンホームページへのアクセス	件	10,668	10,557	10,162	10,391	11,842	10,171	10,447	9,206	9,346	11,431	10,559	11,826	126,606	118,723																	
	参考 ※昨年度の実績割		8.7%	8.3%	8.5%	8.6%	7.5%	9.0%	9.0%	8.7%	7.8%	8.7%	8.8%	6.5%	100.0%	100.0%																	
	目標値(月次) ※昨年度の数値		6,648	6,345	6,438	6,516	5,701	6,848	6,825	6,586	5,903	6,608	6,692	4,952	76,062	76,062																	
	評価		160.5%	166.4%	157.9%	159.5%	207.8%	148.6%	153.1%	139.8%	158.4%	173%	157.8%	238.9%	166.5%	↓ 0%																	
	達成率(累計比較)		160.5%	163.4%	161.6%	161.1%	169.5%	165.8%	163.9%	160.8%	160.6%	161.8%	161.5%	166.5%	-	-																	
(2)メディア等との連携																																	
	① メディア(京都新聞等)紹介数	件	-	4	4	4	1	-	-	1	1	-	-	-	11	16																	
(3)各種広報物の作成・発行																																	
	① ボランティアアズ京都(月刊紙)の発行	部	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000	120,000																	
	② 各種チラシ、リーフレット、冊子等の発行※ボランティア啓発物含む	部	1	2	3	8	6	3	5	3	5	4	4	3	47	15																	
(4)情報の集積と管理																																	
	① 福祉・ボランティア活動に関する資料・書籍・ビデオ数(累計)	件	2,871	2,885	2,895	2,910	2,925	2,939	2,949	2,965	2,980	2,994	3,008	3,026	2,743	2,859																	
	② チラシ配架	件	91	66	72	99	69	107	112	68	90	86	75	76	1,011	1,053																	
	③ 新聞切り抜きデータ	件	19	40	50	31	24	33	78	65	71	86	66	119	682	462																	

Ⅲ 研修・人材養成

(1)ボランティア活動希望者および活動者に対する講座等																			
①	Let's ボランティア！ ボランティア入門講座の開催 ※偶数月が対面受講者数・奇数月は配信申込者数を計上	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		人	12	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	184
②	Let's チャレンジ！ 助成金準備講座	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
		人	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	24	27
③	Let's チャレンジ！ 助成金個別相談会	回	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2
		人	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	7	27
④	グラフィック・レコーディング・セミナー	回	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	4	4
		人	-	-	-	-	34	19	-	-	-	-	34	19	-	-	-	106	100
⑤	助成金活用セミナー（市民活動総合センターと共催）	回	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
		人	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	41
⑥	マンツーマンで教わる！シニアのスマホ解決講座	回	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	2
		人	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	42	29
⑦	情報発信のコツ講座 今より伝わるチラシの作り方	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		人	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	25
⑧	情報発信のコツ講座 今より使えるインスタグラム	回	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		人	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	21
⑨	LINEスタンプをつくろう！	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1
		人	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	11	13
⑩	ネクストステージを考えるボランティア入門講座	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
		人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	27	-
⑪	ボランティア団体のための広報相談会	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		人	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	9	-
⑫	スマホ講座 スマホとAIでくらしをもっと便利に！	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
		人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	13	-
⑬	ボランティア活動の新戦略 生成AI活用講座	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
		人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	17	-
		回																0	-
		人																0	-
(2)コーディネートに関する研修の実施																			
①	ボランティアコーディネーター研修会の開催	人	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	26

IV 福祉教育・ボランティア学習														
(1) 福祉教育・ボランティア学習の普及														
① 教育現場(小・中・高・大学)等へのボランティア学習支援(講師派遣、研修依頼)	件	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	12
(2) 福祉教育の推進														
① 講座「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」	回	-	1	-	1	-	1	-	1	1	-	-	1	4
	人	-	46	-	55	-	50	-	29	47	-	-	31	130
② 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」当事者・ファミリーターのコーディネート	回	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	人	-	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186
③ 自分を守る～災害 & からだ編～	回	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	人	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
V 災害ボランティア活動														
(1) 研修・実践訓練の実施														
① 災害ボランティア入門講座	回	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	人	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
② 京都市災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座	人	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	15
	人	-	-	-	-	13	-	2,411	150	443	28	10	10	857
③ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	42
④ 災害時要配慮者支援に関する研修、訓練、情報提供等														
(2) 被災地へのボランティアバスの派遣														
① 被災地へのボランティアバスの派遣	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
(3) 京都市災害ボランティアセンターとの連携 (詳細は「ボランティア支援部」にて記載)														
VI 協働・連携・ネットワーク														
(1) ボランティア・NPO団体との協働事業の実施														
① kyotoこころつながるプロジェクト	人	-	-	-	-	-	-	676	-	-	-	-	-	725
(2) 企業・団体等の社会貢献活動の促進														
① セブン・イレブン・ジャパン商品寄贈	回	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	2	-	6
	箱	-	-	-	-	46	-	-	-	18	2	64	-	125
	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
② 企業の社会貢献活動に関する事業への連携(寄附)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
③ 企業の社会貢献活動に関する事業への連携(寄贈・その他)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
(3) 関係団体との連携によるイベント・講座などの開催														
① 福祉ボランティアに関連する養成講座等の協力(共催・後援・協力)	件	2	1	1	1	1	2	1	3	-	-	1	1	5
	人	41	22	23	18	21	40	9	222	-	-	618	120	1,039
(4) 各分野・関係センター等との連携														
① 大学ボランティアセンター等との連携	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
② 市域レベルの連絡会等との連携	回	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
③ 他センター委員会等への参加	回	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4

Ⅶ 相談・コーディネート																
(1)ボランティアに関する相談・コーディネート																
① 相談者(来所、電話、Eメール等)のニーズに即したコーディネートの件数	件	137	109	127	136	111	117	137	101	104	77	48	54	1,258	1,174	
② 相談業務にかかわる団体情報の更新	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
Ⅶ 活動促進・サポート																
(1)活動のリスク対応に関するサポート																
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の紹介・取り次ぎ	人	(詳細は「ボランティア支援部」にて記載)														
(2)財源確保に関するサポート																
① 民間助成団体等が実施する助成事業の情報提供・活用の促進																
助成情報提供(制度件数)	件	43	37	13	34	26	65	32	12	0	0	3	13	278	331	
" (交付決定) * 推薦団体のみ	件	-	-	-	-	1	1	-	2	-	3	-	-	7	6	
	金額	-	-	-	-	-	100,000	-	-	-	90,000	-	-	190,000	890,000	
助成事業申請に関わる連絡調整および推薦	件	-	-	-	1	3	3	3	3	-	3	-	-	16	10	
	金額	-	-	-	140,480	-	699,000	275,000	-	-	90,000	-	-	1,204,480	890,000	
(3)広報・情報発信に関するサポート																
① 情報発信シートの活用による広報・情報発信支援	件	10	14	25	17	42	22	36	27	38	26	26	20	303	406	
(4)組織運営、活動充実に関するサポート																
① センター施設・設備・備品の貸出し																
センター利用登録団体(累計)	団体	-	-	1	-	-	1	2	1	-	-	1	-	825	819	
センター来所者(3Fパーク)	人	5,540	5,928	5,702	6,306	5,367	5,710	5,604	5,979	5,264	5,208	5,488	6,320	68,416	68,509	
" (1日平均)※休館日を除く	人	191.0	197.6	196.6	210.2	178.9	196.9	186.8	206.2	195.0	200.3	203.3	210.7	198	198.4	
事業評価 ※過去最高値達成年度の実績割 ※過去最高実績年度の数値		8.3%	8.0%	8.7%	8.2%	7.7%	8.7%	9.2%	8.7%	7.1%	6.4%	9.8%	9.2%	100.0%		
	目標値(月次)	9,189	8,866	9,611	9,093	8,503	9,582	10,144	9,654	7,838	7,078	10,868	10,122	110,548		
	達成率(月次比較)	↓ 60.3%	↓ 66.9%	↓ 59.4%	↓ 69.4%	↓ 63.2%	↓ 59.6%	↓ 55.3%	↓ 62%	↓ 67.2%	↓ 73.6%	↓ 50.5%	↓ 62.5%	↓ 61.9%	↓ 62%	
	達成率(累計比較)	↓ 60.3%	↓ 63.6%	↓ 62.1%	↓ 63.9%	↓ 63.8%	↓ 63.1%	↓ 61.8%	↓ 61.9%	↓ 62.4%	↓ 63.3%	↓ 61.9%	↓ 61.9%	-	-	
ミーティング室利用(利用団体数)	件	73	76	75	75	71	67	71	67	68	72	75	75	865	888	
録音室利用(利用団体数)	件	2	5	12	6	5	6	4	4	9	9	5	12	79	115	
館内パソコン利用	件	9	9	13	10	12	12	13	14	16	11	8	7	134	139	
コピー・印刷機等利用料収入	円	34,830	105,275	27,590	24,485	46,640	22,485	51,010	23,365	36,560	29,730	30,475	40,055	472,500	498,100	
1Fパソコンコーナー講習・相談(利用者)	人	113	90	90	117	69	67	85	89	51	79	54	61	965	1,621	
" (ボランティア活動者)	人	119	102	101	111	75	53	108	102	57	106	76	76	1,086	1,503	
" (その他登録団体)	人	82	84	147	48	45	124	69	96	85	17	96	41	934	557	
ボランティアビューロー	団体	22	27	26	25	26	24	27	27	27	23	26	25	305	284	
ロッカー貸出し	人	139	139	194	185	199	195	226	199	198	163	313	196	2,346	2,142	
その他備品(返却日で集計、貸出団体数)	団体	通年で60団体に貸出														
② 新規ボランティアグループの立上げ	件	11	10	16	15	13	14	18	18	12	15	17	14	173	183	
	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	

IX 調査・研究																			
(1)ボランティア・地域福祉活動に関する調査・研究事業の実施																			
①	利用登録団体のセンター利用実態調査	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
		団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	368	-
	回	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5
③	出張・研修	人	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5
		人	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5
X センターの運営・管理																			
(1)事業の企画および進行管理																			
①	京都市福祉ボランティアセンター運営委員会の開催	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
		人	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	19
(2)事業評価																			
①	事業に関するアンケート調査の実施	回	2	2	4	8	6	3	5	3	6	4	4	3	50	39			
(3)施設等の管理・運営																			
①	本センターに対する意見集約(コラボレーションシート)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
		件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
		回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
ボランティア支援部事業																			
(1)京都市災害ボランティアセンターの共同運営(再掲)																			
①	京都市災害ボランティアセンター運営会議の開催	回	1	-	1	-	1	-	1	-	1	1	1	-	-	7	7	7	7
(2)災害ボランティアセンター事業の推進(共同実施)																			
①	研修、訓練、情報提供等の関連事業の実施(視察含む)	回	-	1	1	-	-	-	3	4	-	1	-	-	-	10	10	10	10
		人	-	39	46	-	-	-	190	111	-	120	-	-	-	506	704	704	704
②	他都市被災地に対する後方支援	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	2	2	2
③	災害時のボランティア活動の環境整備	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3	3	3
④	区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回	-	-	-	-	2	-	5	2	4	3	1	1	18	17	17	17	17
		人	-	-	-	-	13	-	2,411	150	443	28	10	10	3,065	857	857	857	857
⑤	京都府災害ボランティアセンターとの連携	回	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	3	4	4	4	4
(3)福祉の保険の取り扱いと加入の促進																			
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の取り扱いと加入の促進																			
①	福祉行事保険(加入者)(累計)	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
		人	30,973	43,729	53,297	67,834	78,204	96,941	116,098	168,489	180,192	187,628	193,927	198,763	198,763	161,643	161,643	161,643	161,643
		件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0
②	ボランティア保険(加入者)(累計)	人	20,334	22,405	23,349	24,184	24,805	25,389	25,936	26,241	26,469	26,581	26,717	26,805	26,805	31,597	31,597	31,597	31,597
		件	上半期合計58件(行事保険15件、ボランティア保険43件)										下半期合計件(行事保険5件、ボランティア保険21件)						
(4)その他																			
①	寄付・寄贈	件	-	-	-	-	5	12	-	-	19	1	-	11	48	63	63	63	63
②	きょうと「こどもみらい笑顔便」	世帯	-	-	-	-	69	-	-	-	118	-	-	98	285	246	246	246	246

資料2

京都市福祉ボランティアセンター要綱等



コピー機
用紙不要
枚数が少ない場合や
冊子仕上げにオススメ

	白黒	カラー
利用登録団体のみ	1面 5円	1面 30円

(2023/4/1現在)

印刷機
別途用紙必要
同じ物を大量に
印刷する際にオススメ

	製版	インク代
利用登録団体のみ	1版 30円	50面 5円

(2023/4/1現在)



京都市福祉ボランティアセンターの利用に関する要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(目 的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人京都市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、京都市福祉ボランティアセンター条例及び同条例施行規則並びに京都市福祉ボランティアセンターの管理に関する協定書に基づいて、福祉に関するボランティア活動等を行う京都市内の団体等の活動を支援し、その用に供するため、施設・付属設備及び備品の利用等に関して必要な事項を定めるものである。

(利用者の範囲)

第2条 京都市福祉ボランティアセンター（以下「センター」という。）を利用できる者は、以下のとおりとする。

- (1) 福祉に関するボランティア活動を行う団体又は行う予定のある団体
 - (2) 福祉に関するボランティア活動を行う個人又は当該活動に興味のある個人
 - (3) 福祉に関するボランティア活動への支援を行う、センター所長（以下「所長」という。）が利用を認める団体等
- 2 前項の規定に関わらず、京都市暴力団排除条例第2条第4号に規定する暴力団員又は同条例同条第5号に規定する暴力団密接関係者に該当する者は利用することができない。
- 3 同条第1項に該当する団体及び個人であっても、以下の行為が認められる場合は、センターを利用することができない。
- (1) 利潤追求を主たる目的とする行為又はそれが疑われる行為
 - (2) 宗教活動を主たる目的とする行為又はそれが疑われる行為
 - (3) 特定の公職者(候補者を含む)又は政党の推薦、支持、反対を目的とする行為又はそれが疑われる行為

(施設・付属設備及び備品)

第3条 センター内の利用できる施設は、(別表1)京都市福祉ボランティアセンター施設一覧のとおりとする。

- 2 センター内の利用できる付属設備は、(別表2)付属設備一覧のとおりとし、付属設備の利用に関する細則については、「所長」が別に定める。
- 3 センター内の利用できる備品は、(別表3)貸出し備品一覧のとおりとする。

(利用対象、利用方法、利用時間及び費用等)

第4条 前条に掲げる施設・付属設備及び備品に係る利用対象等については、前条の各別表のとおりとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、所長が特に必要と認める場合、この限りではない。

(利用の登録)

第5条 第3条の各別表中の対象欄に「施設利用登録団体」と規定している施設等を利用するには、「施設利用登録申請書」(様式①)によりセンターに利用登録し、センターから承認を受けなければならない。

- 2 所長は前項の規定により利用の承認を受けた団体に対し「京都市福祉ボランティアセンター利用登録証」(様式②)を発行する。

(申込みの方法)

第6条 前条の規定により利用の承認を受けた団体（以下「利用団体」という。）が、予約制の施設を利用しようとするときは、原則、センターに「施設利用申込書」（様式③）（以下「利用申込書」という）を提出し、利用の申込みをしなければならない。やむを得ず、利用団体がセンターに出向けない場合は、センターは電話による受付を行うが、利用団体は、速やかに「利用申込書」を提出しなければならない。

- 2 前項に限らず、センターはFAX、Eメールでも受付を行うが、その場合も、利用団体は、速やかに利用申込書を提出しなければならない。
- 3 電話又はFAX、Eメールによる受付後、利用団体から利用申込書の提出がない場合は、センターは、当該受付を無効とすることができる。
- 4 利用の申込みは、利用日の3か月前の同日（休所日の場合はその翌日）からできるものとする。
- 5 受付時間は、センターの開所時間内とする。
- 6 利用の申込みは、利用日に属する週の月曜日から日曜日までを1週間とし、同一週間の内、（別表1）にあるボランティアセンター施設の利用できる時間帯の1枠までとする。ただし、利用日の1か月前の同日（休所日の場合はその翌日）からは、2枠以上の利用の申込みができることとする。
- 7 利用団体が、予約制の付属設備を利用しようとするときは、付属設備に対応する施設の利用の申込みも合わせて行わなければならない。
- 8 利用団体が、予約制の備品を利用しようとするときは、センターに「備品使用申込書」（様式④）を提出し、利用の申込みをしなければならない。また、備品の利用後は、速やかに、センターに「備品使用報告書」（様式⑤）を提出しなければならない。

(申込みの取消し)

第7条 利用団体が前条による利用の申込みを取り消そうとする場合、原則として、利用日の前日（休所日の場合はその前日）のセンター開所時間中までに、センターまで申し出なければならない。申し出方法は、来所、電話、FAX、Eメールのいずれの方法も可とする。

(利用料)

第8条 センターの施設・付属設備及び備品の費用は原則無料とする。ただし、有料の付属設備を利用したときは、利用団体は、センターに「付属設備利用細則」に定める費用を支払わなければならない。

(利用の例外)

第9条 センターの管理運営や業務の都合上必要があるときは、利用の申込みの有無に関わらず、所長は、利用団体を含むセンターを利用する者（以下「利用者」という。）に対して、センターの利用を断る場合がある。

(遵守事項等)

第10条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 利用時間を厳守すること。
- (2) センターの施設・設備の利用ルールを守り、丁寧に使うこと。
- (3) 他の利用者への配慮を図るなど利用者相互の親睦に努めること。
- (4) 申込みの取消しの連絡をしない無断未利用はしないこと
- (5) 利用したセンターの施設・設備及び備品を原状回復し、清掃のうえ、予約制の施設等については、センターに終了報告すること。

(6) 利用したセンターの施設・設備及び備品に故障、破損、停止、消耗品切れ等の不都合が生じた場合は、速やかにセンターに報告すること。なお、利用者の故意・過失により不都合が生じたと認められる場合は、所長は、当該利用者に対して、相当する費用の弁償を求めることがある。

3 利用者において前項の不遵守が続く場合やセンターの設備・備品を故意に故障等させることや備品の第三者への譲渡、質入れ、転貸等の処分、並びに改造、改装等、悪質な行為が認められる場合は、所長は、当該利用者に対し、相当の損害賠償を求めるとともに、以後の利用を禁止させることがある。

(付 則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は本会会長がこれを定める。

- 2 この要綱は、平成15年6月23日より施行する。
この要綱は、平成19年5月1日より一部改正する。
この要綱は、平成23年4月1日より一部改正する。
この要綱は、平成25年4月1日より一部改正する。
この要綱は、令和2年4月1日より一部改正する。
この要綱は、令和4年2月1日より一部改正する。
この要綱は、令和4年6月1日より一部改正する。
この要綱は、令和8年4月1日より一部改正する。

(別表 1)

京都市福祉ボランティアセンター施設一覧

施設名	対象	利用方法	利用できる時間帯	費用
ボランティア パーク	自由利用		月曜日～土曜日　9時～21時 日曜日・祝休日　9時～17時	無料
ボランティア ビューロー				
印刷室	施設利用 登録団体	(注3)	午前　　9時～12時 午後　13時～17時 夜間　18時～21時（注2）	
ミーティング室1 ミーティング室2 （注1）				
録音室				
パソコン コーナー	パソコンボ ランティア 団体等			

各施設の付属設備の利用については、別表 2 を確認すること

(注 1) ミーティング室 1・2 の同時利用は、12 名以上の利用に限る。

(注 2) 夜間は、日曜日・祝休日・年末年始を除く平日・土曜日のみ

(注 3) 一部の付属設備は予約が必要

(注 4) ミーティング室 1・2 以外、予約制の施設の同時利用はできない。

ただし、所長が必要と認める場合は、この限りではない。

付属設備一覧

施設名	付属設備	対象	利用方法	費用
ボランティア パーク	机、いす	自由利用		無料
	掲示板、情報ラック（注1）			
	図書・雑誌・その他資料			
	コインロッカー	施設利用 登録団体	登録制（年間）	
	プリンター		先着順	
ボランティア ビューロー	机、いす	自由利用		無料
	掲示板、情報ラック（注1）			
	保管庫（団体貸出し用）	施設利用 登録団体	登録制（年間）	
印刷室	作業机、いす		先着順	有料
	丁合機、紙折り機			
	断裁機、電動パンチ		予約制	無料
	コピー機			
	印刷機			
ミーティング 室1・2	机、いす		予約制	無料
	ホワイトボード			
	スクリーン及び映写台（注2）		予約制	有料
録音室	机、いす			
	録音機器		登録制	無料
	点字プリンター			
パソコン コーナー	机、いす、スクリーン	パソコンボラ ンティア団体 等	登録制	無料
	ホワイトボード			
	倉庫、ロッカー（団体貸出し用）			
	プロジェクター、無線LAN機器			

（注1） 掲示板・情報ラックの利用に関しては、京都市福祉ボランティアセンターの付属設備の利用に関する細則を確認すること

（注2） ミーティング室2に付属する設備

貸出し備品一覧

備品名	数量	対象	利用方法	外部持出し (注1)	費用
液晶プロジェクター	2	施設利用 登録団体	予約制	可	無料
マイクアンプセット（注3）	1				
OHC	2				
スクリーン小（注4）	1				
スクリーン大（注5）	2				
ヒアリンググループ	2				
カウンター型ヒアリンググループシステム	1				
ドラムコード（注6）	1				
外付けスピーカー	1				
DVDビデオプレイヤー	2				
CDカセットデッキ	1				
ノート型パソコン	5				
ノート型パソコン点字用	1				
延長コード	数個				
デスクトップ型パソコン	1				
車いす	6	(注7)	予約制	可	

(注 1) 外部持出しとは、使用する会場において同等の備品を準備することができる場合（有料で貸し出している場合を含む）を除き、所長が認めた場合に限り、センター外に持ち出しできることをいう。貸出期間は、原則 1 週間とし、所長が許可することにより、延長することができる。

(注 2) ひとまち交流館京都の建物内での持出しに限る。

(注 3) ワイヤレスアンプ、マイク 3 本

(注 4) サイズ 縦 91cm、横 122cm

(注 5) サイズ 縦 122cm、横 162cm

(注 6) 屋外用 30m

(注 7) 学校・施設・団体等が主催する福祉教育の研修等で使用する場合は対象とする。

京都市福祉ボランティアセンターの利用に関する要綱（以下「利用要綱」という。）第3条第2項に規定する付属設備の利用に関し、以下のとおり細則を定める。

第1 コインロッカー（団体貸出し用）の利用に関すること

- 1 京都市福祉ボランティアセンター（以下「センター」という。）は、コインロッカー（団体貸出し用）（以下「ロッカー」という。）を利用する団体（「ロッカー利用団体」という。）にロッカーカードを5枚交付する。なお、ロッカーの利用募集等については、別途定める。
- 2 ロッカー利用前、ロッカー利用団体は、ロッカーカードとの引換えにより、センター窓口（以下「窓口」という。）からロッカー鍵を受け取り、ロッカーを使用することとする。
- 3 ロッカー利用団体は、ロッカーの利用を終了するときはロッカーを確実に施錠したうえで、速やかに、ロッカー鍵を窓口に戻却しなければならない。
- 4 ロッカー利用団体がロッカーカードを紛失した場合、速やかに、その旨を窓口届け出なければならない。
- 5 ロッカーの利用は、印刷物・印刷用紙等の一時保管、その他活動に関わる荷物の一時保管としての利用に限り、それ以外の貴重品、危険物、生もの等を保管してはならない。
- 6 緊急時等、センター所長（以下「所長」という。）が、やむを得ないと判断する場合は、ロッカー利用団体の了承なくロッカーを開錠することがある。
- 7 ロッカー利用団体の故意又は過失により、ロッカーに損傷を与えた場合や鍵を紛失した場合等ロッカーの利用に支障を生じさせた場合は、ロッカー利用団体は実費相当を弁償しなければならない。
- 8 ロッカーの利用に伴う事故又は荷物の紛失等に関し、センターは一切の責任を負わないものとする。
- 9 その他、ロッカー利用団体は、ロッカーの利用にかかる事項について、所長の指示に従わなければならない。

第2 掲示板・情報ラックの利用に関すること

- 1 ポスター、チラシ・パンフレット等の掲示及び配架について、ボランティアパーク内の掲示板・情報ラックを利用する団体（以下「掲示等団体」という。）は、窓口（郵送可）に配架申請書（様式⑥）を提出しなければならない。ただし、掲示及び配架の可否は、センターにおいて決定する。なお、掲示等団体がポスター掲示位置等の指定をすることはできない。
- 2 掲示及び配架できる期間は、開催等の期日があるものについては、期日終了日までとし、期日がないもの及び期間が長期に及ぶものについては、原則、配架申請書（様式⑥）の受付日から最大3ヶ月間とする。
- 3 配架するチラシ・パンフレット等の部数が無くなった場合の補充は、原則、センターは行わない。

第3 各種資料・図書の利用に関すること

各種資料・図書は閲覧用であり、センター外への持出しはできない。

第4 パソコン及びプリンターの利用に関すること

- 1 パソコン及びプリンターを利用する団体は、窓口利用要綱に規定する「備品使用申込書」（様式④）を提出しなければならない。なお、申込みの方法についても利用要綱の規定を準用する。
- 2 パソコン及びプリンターを利用した後は、速やかに、窓口利用要綱に規定する「備品使用報告書」（様式⑤）を提出するとともにパソコン及びプリンターを返却しなければならない。

第5 印刷室の機器の利用に関すること

- 1 印刷室の機器は、印刷機を除き、先着順により自由に利用できる。
- 2 印刷機の利用の申込みは、利用日の3か月前から予約することができる。
- 3 印刷機のプリント用紙は、利用団体が準備しなければならない。
- 4 コピー機のコピー用紙は、備え付けの用紙を使用することとする。
- 5 印刷室の機器を使って印刷できるものは、ボランティアや市民活動に関する内容のものに限るものとする。
- 6 印刷機等の料金表は以下のとおりであり、利用団体は実費の一部として支払うこととする。

料金表		
印刷機	製版代	30円／1版
	インク代	5円／50面
コピー機	黒	5円／1面
	カラー	30円／1面
プリンター（黒）		5円／1面
点字プリンター		5円／専用用紙1枚

付則

- この細則は、平成25年4月1日より施行する。
- この細則は、令和2年4月1日より一部改正する。
- この細則は、令和5年5月1日より一部改正する。
- この細則は、令和6年4月1日より一部改正する。
- この細則は、令和8年4月1日より一部改正する。

京都市福祉ボランティアセンター運営委員会要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(設 置)

第1条 社会福祉法人京都市社会福祉協議会(以下「本会」という。)の定款第20条「部会及び委員会」に基づき、京都市福祉ボランティアセンター(以下「センター」という。)の運営を円滑に行い、かつボランティア推進団体相互の協働と連携を促進するため京都市福祉ボランティアセンター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。

(構成並びに役員)

第2条 運営委員会の委員は、次に掲げる者の中から、本会会長が委嘱する。

- (1)京都市社会福祉協議会関係者
- (2)区ボランティアセンター関係者
- (3)ボランティア・市民活動推進団体関係者
- (4)福祉団体・施設関係者
- (5)企業団体等関係者
- (6)マスコミ・報道機関関係者
- (7)学識経験者
- (8)行政関係者
- (9)本センター利用登録団体

2 運営委員会に次の役員を置く。

- (1)運営委員会に委員長1名、副委員長若干名を置き、本会会長が指名する。
- (2)委員長は会務を総括し、委員長に事故あるときは副委員長が職務を代行する。

3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者の出席を求めることができる。

(運営委員会)

第3条 運営委員会の会議は、年2回以上開催し、委員長が招集しその議長となる。

2 運営委員会は、次の事項について協議し、必要な事項を本会会長に建議する。

- (1)センター事業の企画立案に関すること
- (2)センターの事業計画・報告、予算・決算に関すること
- (3)センター事業の進行管理、評価に関すること
- (4)センターの施設・設備の利用促進と整備・充実に関すること
- (5)その他、センター事業に係る事項に関すること

(課題別委員会)

第 4 条 センター事業の遂行上必要と認められる場合、運営委員会のもとに課題別委員会を設置することができる。

- 2 課題別委員会の委員は、運営委員会の委員の中から委員長がこれを委嘱する。但し、必要に応じ運営委員会の委員以外の者に委嘱することができるものとする。
- 3 課題別委員会の体制・運営・任期等については、運営委員会の協議を経て、その都度委員長がこれを定めるものとする。
- 4 課題別委員会の協議内容については、適宜委員長に報告するものとする。

(委員の任期)

第 5 条 運営委員会の委員の任期は、2 年とし、本会役員在任期間と同等とする。但し、再任は妨げない。

- 2 委員の欠員補充により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第 6 条 運営委員会の事務局は、京都市福祉ボランティアセンターに置く。

(委 任)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、本会会長が定める。

付 則

この要綱は、平成 15 年 5 月 28 日より施行する。

平成 24 年 1 月 25 日より一部改定する。

ボランティア・市民活動に関する情報収集・発信事業 実施要綱

京都市福祉ボランティアセンター

1. 趣旨

京都市におけるボランティア・市民活動の中核である京都市福祉ボランティアセンター（以下、「センター」という。）として、ボランティアに関する各種情報を広く一般市民に向けて発信することにより、ボランティア活動の振興と促進を図ることを目的とする。

2. 内容

ボランティアに関する各種情報を下記の方法により発信する。なお、情報発信方法は情報の種類により原則としてセンターで判断する。

- (1) センターホームページ
- (2) メールマガジン
- (3) 月刊紙、季刊誌
- (4) チラシ、ポスター類の掲出・掲示
- (5) テレビ・ラジオ等のマスメディア

3. 発信できる情報

- (1) 団体情報
団体（ボランティアグループやNPO等の活動団体）の概要
- (2) イベント情報
団体が実施する講演会、研修、シンポジウム、展示会等に関する情報
- (3) ボランティア・スタッフ募集情報
団体が募集するボランティアやスタッフに関する情報
- (4) ボランティア・人材提供情報
団体が派遣・提供するボランティア等に関する情報
- (5) 寄付金・物品募集情報
団体が募集する物品、募金、寄付金等に関する情報

4. 発信できない情報

次のうちのいずれかに該当する情報は発信しない。

- (1) 他人を誹謗、中傷し又は差別するもの
- (2) 他人のプライバシーを侵害するもの
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害するもの
- (4) 犯罪行為を誘発するようなもの
- (5) 営利を目的とする広告、宣伝等
- (6) 選挙運動等の政治活動を目的とするもの

- (7) 布教等、宗教活動を目的とするもの
- (8) 法令等に違反、もしくは違反するおそれのあるもの
- (9) わいせつ、残虐等、公序良俗に反するもの
- (10) その他、情報発信事業の趣旨に反するもの

5. 備考

- (1) 次のうちのいずれかに該当する場合、事前に通告することなく情報提供を中断することがある。
 - ①ホームページ、メールマガジンのシステムの保守点検を定期的又は緊急に行う場合
 - ②火災、停電等により情報提供ができなくなった場合
 - ③天災地変等により情報提供ができなくなった場合
 - ④その他、センターが一時的な中断が必要と判断した場合
- (2) 各種情報発信方法における情報の変更、中止、中断等又は掲載した情報により団体が被った損害に対し、センターは一切の責任を負わない。また、団体が掲載した情報により第三者に損害が生じた場合は、当該団体の責任において対応することとする。

附 則

この要綱は平成16年6月18日より施行する。

運用ポリシー

開設所属	京都市福祉ボランティアセンター
発信情報	(1) 本センターが実施する事業の告知・報告等 (2) 本センターが発信しているボランティア募集やイベント情報
利用目的	幅広い世代に向けて情報発信を強化し、ボランティア活動への参加を促進するため。
利用するソーシャルメディアの種類	☒ ツイッター ☒ フェイスブック ☒ その他 (インスタグラム)
アカウント	京都市福祉ボランティアセンター
登録URL	(ツイッター) https://twitter.com/kyoto_vora (フェイスブック) https://www.facebook.com/京都市福祉ボランティアセンター-1347786861957064/ (インスタグラム) https://www.instagram.com/kyotocityvinfo/?hl=ja
運用期間	平成29年10月3日 ～ 年 月 日
運用時間	月曜日から金曜日までの9時00分から17時00分までとします。(土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除く)。ただし、それ以外の時間に発信する場合があります。
投稿に対する返信	運用者は必要に応じて回答を行います。ただし、運用者が全ての投稿を閲覧し投稿に対して回答することを保証するものではありません。
備考	令和5年3月 インスタグラムを追加

(その他)

1 注意事項

以下に定める投稿は禁止しておりますので、予告なく削除することがあります。

- (1) 法律、法令等に違反する内容、又は違反するおそれがあるもの
- (2) 特定の個人・団体等を誹謗 中傷するもの
- (3) 政治、宗教活動を目的とするもの
- (4) 著作権、商標権、肖像権など京都市社会福祉協議会又は第三者の知的所有権を侵害するもの
- (5) 広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利を目的とするもの
- (6) 人種・思想・信条等の差別又は差別を助長させるもの
- (7) 公の秩序又は善良の風俗に反するもの
- (8) 虚偽や事実と異なる内容及び根拠のないもの
- (9) 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいする等プライバシーを害するもの
- (10) その他京都市社会福祉協議会が不適切と判断した情報及びこれらの内容を含むホームページへのリンク

2 知的財産権

当ページに掲載している個々の情報（テキスト、画像等）に関する知的財産権は、京都市社会福祉協議会又は原作者に帰属します。また、内容について「私的使用のための複製」や「引用」など著作権

法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

3 免責事項

(1)京都市社会福祉協議会は、利用者間もしくは利用者と第三者間のトラブルにより、利用者又は第三者に生じたどのような損害についても、一切の責任を負いません。

(2) 京都市社会福祉協議会は、予告なく運用ポリシーの変更や運用方法の見直し又は運用を中止する場合があります。

福祉ボランティアセンター運営事業サービス区分 資金収支計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動による収入支	収入			
	寄附金収入		10,000	-10,000
	寄附金収入		10,000	-10,000
	受託金収入	75,264,000	75,264,000	
	市受託金収入	75,264,000	75,264,000	
	その他の収入	500,000	472,500	27,500
	雑収入	500,000	472,500	27,500
	雑収入	500,000	472,500	27,500
	事業活動収入計(1)	75,764,000	75,746,500	17,500
	支出			
	人件費支出	43,444,000	39,309,327	4,134,673
	職員給料支出	26,660,000	24,367,855	2,292,145
	職員賞与支出	8,244,000	7,256,621	987,379
	派遣職員費支出	2,000,000	1,732,426	267,574
	法定福利費支出	6,540,000	5,952,425	587,575
	事業費支出	18,950,000	17,073,182	1,876,818
	諸謝金支出	2,150,000	1,377,594	772,406
	旅費交通費支出	100,000		100,000
	消耗器具備品費支出	1,391,000	733,028	657,972
	印刷製本費支出	1,505,000	1,501,992	3,008
	修繕費支出	138,000	126,126	11,874
	通信運搬費支出	2,418,000	2,407,669	10,331
	広報費支出	4,028,000	3,872,000	156,000
	業務委託費支出	6,337,000	6,334,483	2,517
	保険料支出	43,000	32,990	10,010
	賃借料支出	820,000	676,500	143,500
	租税公課支出	20,000	10,800	9,200
	事務費支出	9,970,000	9,469,114	500,886
	福利厚生費支出	1,730,000	1,728,397	1,603
	旅費交通費支出	155,000	127,050	27,950
	研修研究費支出	206,000	121,900	84,100
	事務消耗品費支出	1,669,000	1,652,193	16,807
	印刷製本費支出	370,000	242,151	127,849
	光熱水費支出	2,620,000	2,587,221	32,779
	修繕費支出	90,000	82,698	7,302
	通信運搬費支出	220,000	211,781	8,219
	業務委託費支出	30,000	29,645	355
	手数料支出	10,000	3,080	6,920
	保険料支出	5,000		5,000
	租税公課支出	2,815,000	2,652,000	163,000
	雑支出	50,000	30,998	19,002
	事業活動支出計(2)	72,364,000	65,851,623	6,512,377
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,400,000	9,894,877	-6,494,877
施設整備等による収入支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	固定資産取得支出	1,000,000	652,740	347,260
	器具及び備品取得支出	1,000,000	652,740	347,260
	施設整備等支出計(5)	1,000,000	652,740	347,260
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,000,000	-652,740	-347,260
その他の収入	収入			
	その他の活動収入計(7)			

福祉ボランティアセンター運営事業サービス区分 資金収支計算書

(自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
他の活動による収支	支出			
	拠点区分間繰入金支出	2,400,000	9,200,000	-6,800,000
	拠点区分間繰入金支出	2,400,000	9,200,000	-6,800,000
	その他の活動支出計(8)	2,400,000	9,200,000	-6,800,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,400,000	-9,200,000	6,800,000
予備費支出(10)			—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			42,137	-42,137
前期末支払資金残高(12)		32,380,000	32,380,676	-676
当期末支払資金残高(11)+(12)		32,380,000	32,422,813	-42,813

令和7年度（2025年度） 京都市福祉ボランティアセンター事業年報

発行：京都市福祉ボランティアセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1（河原町五条下る東側）

「ひと・まち交流館 京都」3 階

TEL：075-354-8735 FAX:075-354-8738

E-mail:v.info@hitomachi-kyoto.jp

URL:<https://v.hitomachi-kyoto.jp>